

## 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年8月27日

【発行者名】 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役 桐谷 重毅

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー

【事務連絡者氏名】 法務部 山崎 誠吾

【電話番号】 03 - 6437 - 6000

【届出の対象とした募集  
（売出）内国投資信託受  
益証券に係るファンドの  
名称】 ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向  
け）  
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし（野村SMA・EW向  
け）

【届出の対象とした募集  
（売出）内国投資信託受  
益証券の金額】 それぞれ1兆円を上限とします。

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2021年2月26日付で提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の記載事項に変更が生じ、また、本日、半期報告書を提出いたしましたので、原届出書の関係事項を新たな情報により訂正するため、本訂正届出書を提出するものであります。

## 2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下のとおり訂正または更新します。

下線部 \_\_\_\_\_ が訂正部分を示します。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1 ファンドの性格

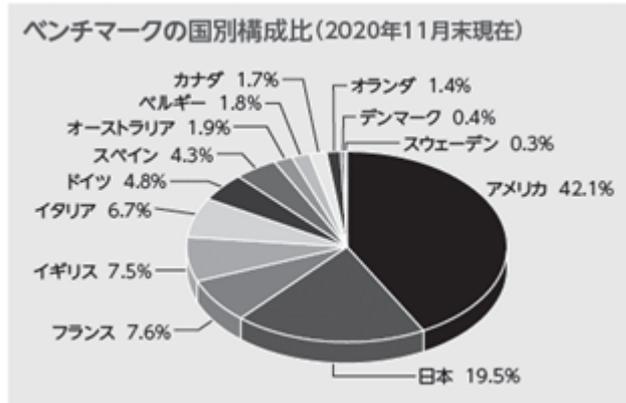
<訂正前>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

(中略)

<ファンドのベンチマーク>

本ファンドは、世界各国の国債、政府関係機関債、社債を主要投資対象とします。投資対象国を広く分散することにより、特定の国の景気や政治動向、金利動向等の影響を低減することをめざします。



#### Aコース

J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ヘッジ・ベース)

#### Bコース

J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ベース)

ベンチマークとは、運用において投資収益目標を設定する際に基準とする指標です。また、投資家がファンドの運用対象や資産の基本配分比率を確認する際の目安となります。

J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)とは、JPモルガンが発表している、世界主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

<なぜ世界債券投資なのでしょう？>



債券への投資は、短期金融商品（預貯金等）を上回る収益を追求することができます。一方で、値下がりリスクがあり、その価格変動幅は、一般に短期金融商品より大きくなりますが株式への投資と比べ小さくなります。

期間：1998年6月末～2020年11月末

出所：ブルームバーグ、JPモルガン、MSCIのデータを基に  
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

世界株式：MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ）

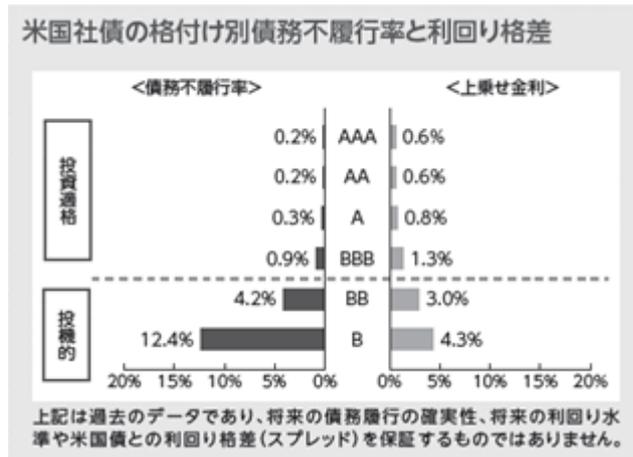
世界債券：J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（グローバル、円ヘッジ）

円短期金融商品：1ヵ月円LIBOR

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。信託報酬等の諸費用や、流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。本ファンドの実績は、後記「5 運用状況（参考）運用実績」をご覧ください。Aコースの場合は、為替ヘッジを行う一方でアクティブ通貨運用を行うため一定の為替変動リスクを伴いますので、上記の円ヘッジのデータとは異なる値動きとなります。また、円ヘッジされていないBコースの場合は為替変動の影響を直接受けるため、値動きは大きくなりますのでご注意ください。

## &lt; 高格付け債券への投資 &gt;

( 中略 )



社債市場では、信用力の高い（格付けが高い）銘柄は、国債に対する上乗せ金利が低くなっていますが、債務不履行が生じる可能性が低く、比較的安定したリターンが期待できます。

## &lt; 債務不履行率 &gt;

期間：1981年～2019年 出所：S&P

1981年～2019年の期間について、債務不履行を起こした米国社債の割合を格付け別に算出。なお、該当社債の格付けは、債務不履行時の3年前（各年1月1日時点）の格付けを参照。（2019年12月末現在）

## &lt; 上乗せ金利 &gt;

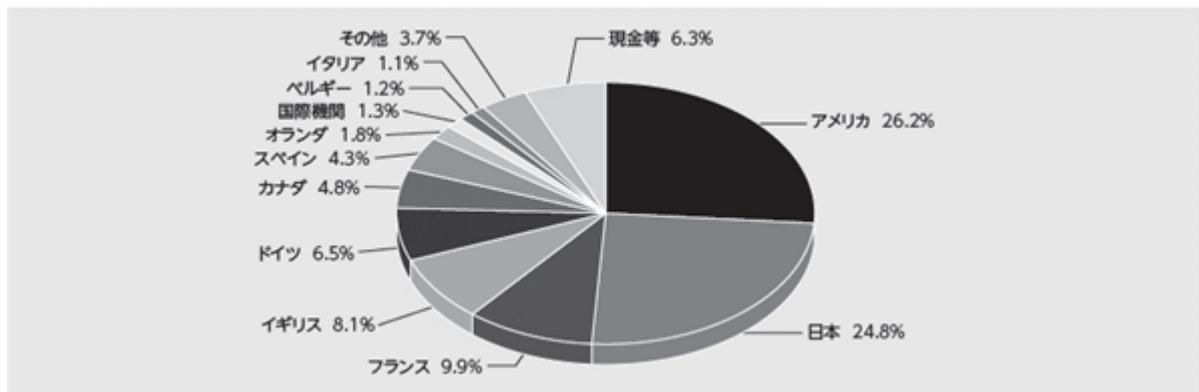
2020年11月末現在 出所：ブルームバーグ

## &lt; Aコース（限定為替ヘッジ）の特徴 &gt;

( 中略 )

## Aコースの債券国別構成比率

世界各国に分散して投資することにより、リスクの低減効果が期待できます。

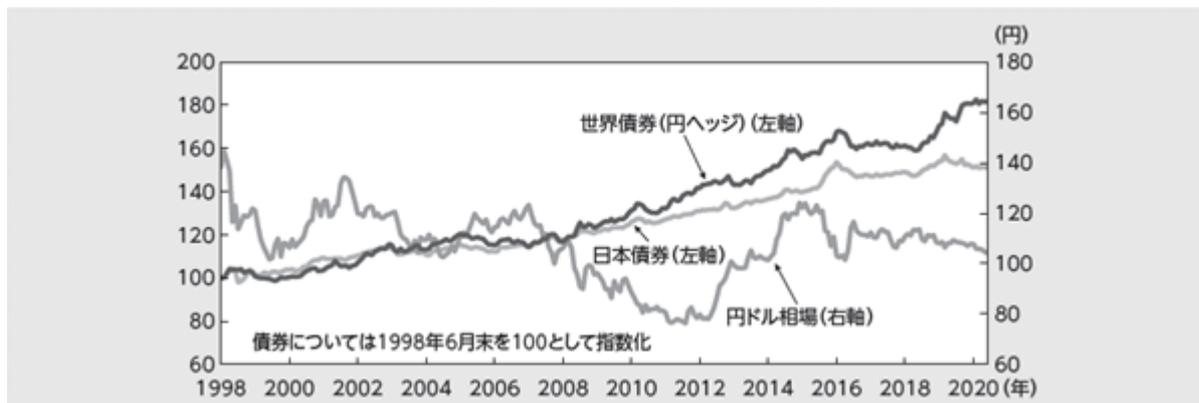


2020年11月末現在

上記はマザーファンドの数値です。また、上記の数値は先物を含みません。

## 世界債券(円ヘッジ)の値動きの推移と円ドル相場

ヘッジ付き世界債券は為替相場変動の影響を低減しており、比較的日本債券に近い動きになっています。



期間：1998年6月末～2020年11月末

出所：ブルームバーグ、JPモルガンのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

世界債券（円ヘッジ）：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（グローバル、円ヘッジ）

日本債券：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（日本）

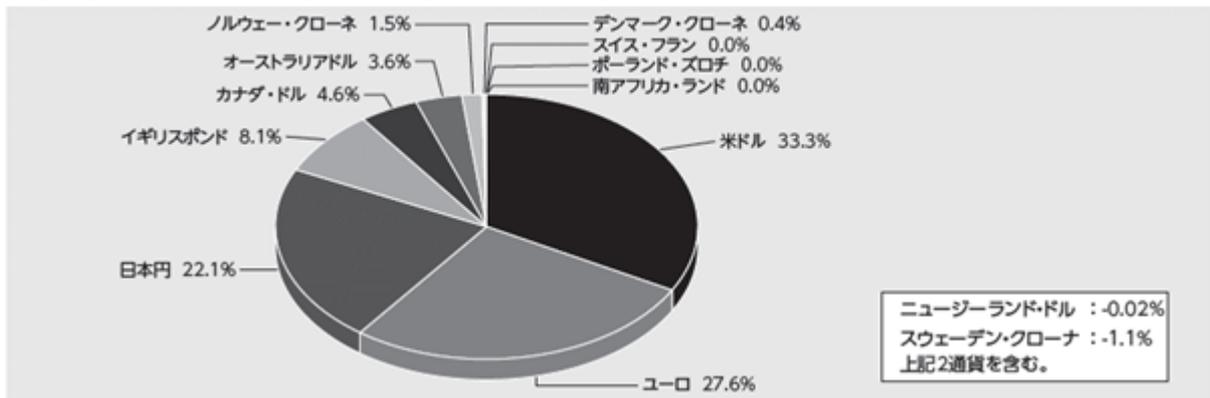
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。信託報酬等の諸費用や、流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。本ファンドの実績は、後記「5 運用状況（参考）運用実績」をご覧ください。

## &lt; Bコース（為替ヘッジなし）の特徴 &gt;

（中略）

## Bコースの通貨別構成比率

債券の分散効果とともに、通貨の世界分散投資効果も期待できます。

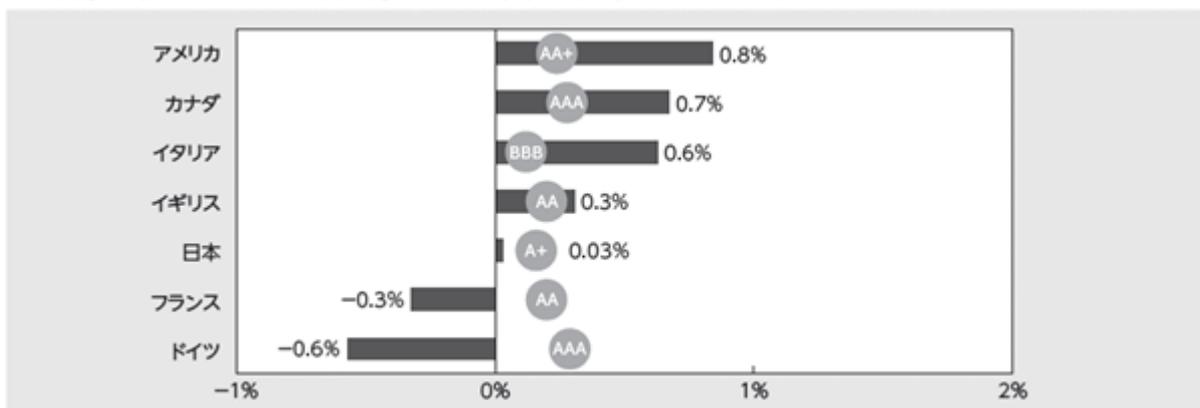


2020年11月末現在

上記はマザーファンドの数値です。

## 先進7カ国の10年国債利回りと格付け

外国債券の利回りは、日本国債と比較して相対的に高い水準にあります。



2020年11月末現在

出所：ブルームバーグ、S &amp; P（格付けは自国通貨建て長期債務）

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。信託報酬等の諸費用は考慮されておりませんのでご注意ください。上記の利回り水準は、将来大きく変動することがあります。

（中略）

## (3) ファンドの仕組み

(中略)

## 2. ファンドの関係法人

委託会社および本ファンドの関係法人の名称および関係業務

(中略)

&lt;ご参考&gt; ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GSAM)とは

ゴールドマン・サックスは、1869年(明治2年)創立の世界有数の金融グループのひとつであり、世界の主要都市に拠点を有し、世界中の政府機関・企業・金融機関等に対して、投資銀行業務・証券売買業務・為替商品取引・資産運用業務など、多岐にわたる金融サービスを提供しています。

ゴールドマン・サックスの資産運用グループであるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GSAM)は、1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2020年6月末現在、グループ全体で1兆8,874億米ドル(約203兆円\*)の資産を運用しています。

\*米ドルの円貨換算は便宜上、2020年6月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=107.74円)により、計算しております。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの東京拠点です。

(後略)

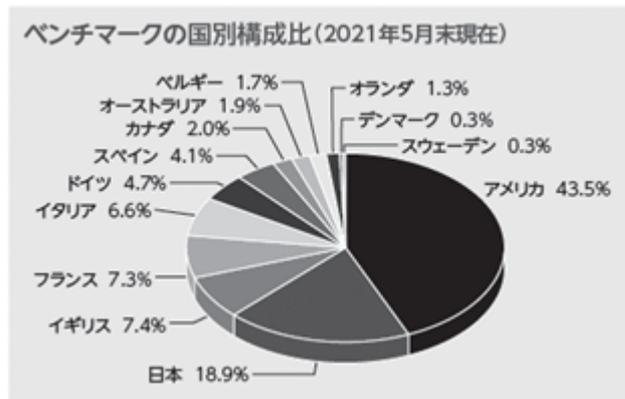
## &lt;訂正後&gt;

## (1) ファンドの目的及び基本的性格

(中略)

## &lt;ファンドのベンチマーク&gt;

本ファンドは、世界各国の国債、政府関係機関債、社債を主要投資対象とします。投資対象国を広く分散することにより、特定の国の景気や政治動向、金利動向等の影響を低減することをめざします。

**Aコース**

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ヘッジ・ベース)

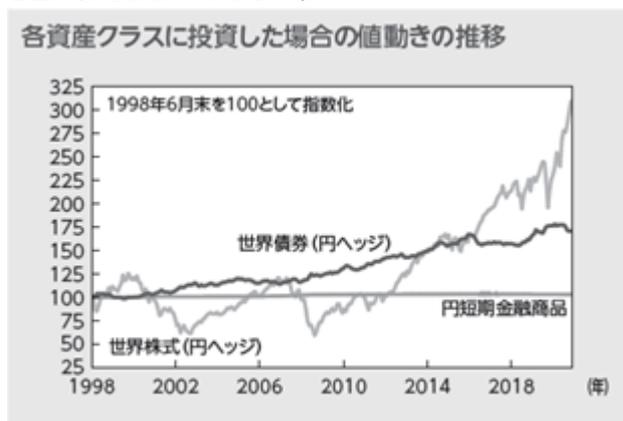
**Bコース**

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)(円ベース)

ベンチマークとは、運用において投資収益目標を設定する際に基準とする指標です。また、投資家がファンドの運用対象や資産の基本配分比率を確認する際の目安となります。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル)とは、JPモルガンが発表している、世界主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

## &lt;なぜ世界債券投資なのでしょう？&gt;



債券への投資は、短期金融商品（預貯金等）を上回る収益を追求することができます。一方で、値下がりリスクがあり、その価格変動幅は、一般に短期金融商品より大きくなりますが株式への投資と比べ小さくなります。

期間：1998年6月末～2021年5月末

出所：ブルームバーグ、JPモルガン、MSCIのデータを基に  
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

世界株式：MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ)

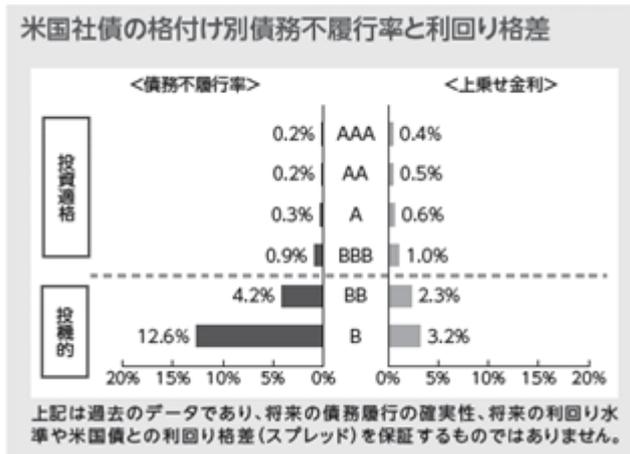
世界債券：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス(グローバル、円ヘッジ)

円短期金融商品：1ヵ月円LIBOR

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。信託報酬等の諸費用や、流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。**本ファンドの実績は、後記「5 運用状況(参考)運用実績」をご覧ください。**Aコースの場合は、為替ヘッジを行う一方でアクティブ通貨運用を行うため一定の為替変動リスクを伴いますので、上記の円ヘッジのデータとは異なる値動きとなります。また、円ヘッジされていないBコースの場合は為替変動の影響を直接受けるため、値動きは大きくなりますのでご注意ください。

## &lt; 高格付け債券への投資 &gt;

( 中略 )



社債市場では、信用力の高い（格付けが高い）銘柄は、国債に対する上乗せ金利が低くなっていますが、債務不履行が生じる可能性が低く、比較的安定したリターンが期待できます。

## &lt; 債務不履行率 &gt;

期間：1981年～2020年 出所：S&P

1981年～2020年の期間について、債務不履行を起こした米国社債の割合を格付け別に算出。なお、該当社債の格付けは、債務不履行時の3年前（各年1月1日時点）の格付けを参照。（2020年12月末現在）

## &lt; 上乗せ金利 &gt;

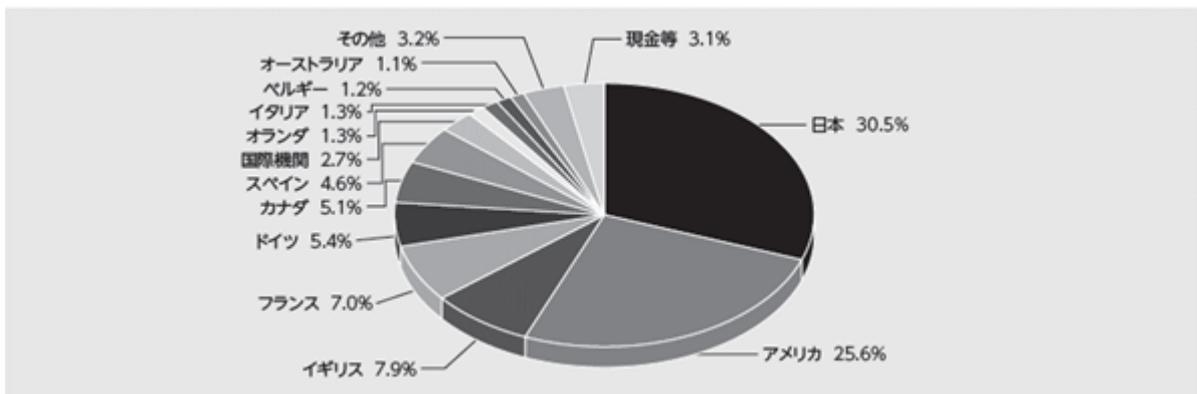
2021年5月末現在 出所：ブルームバーグ

## &lt; Aコース（限定為替ヘッジ）の特徴 &gt;

( 中略 )

## Aコースの債券国別構成比率

世界各国に分散して投資することにより、リスクの低減効果が期待できます。

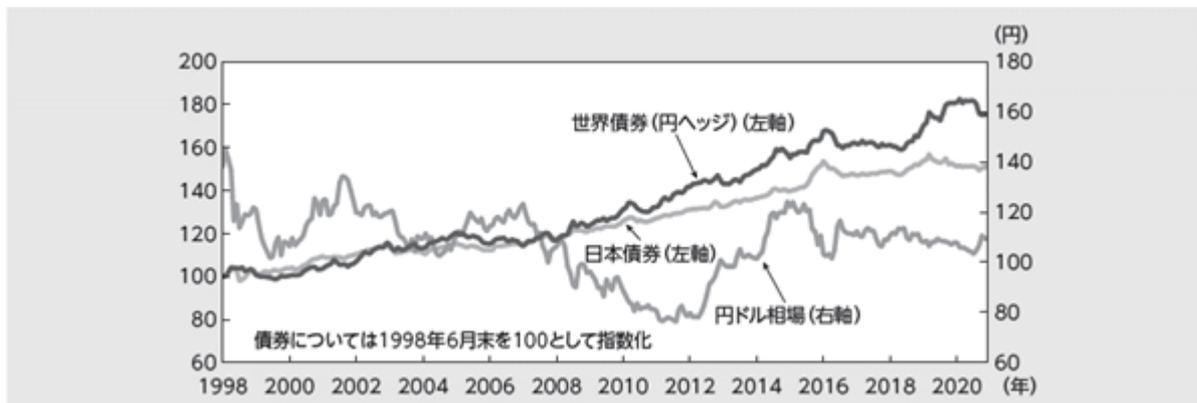


2021年5月末現在

上記はマザーファンドの数値です。また、上記の数値は先物を含みません。

## 世界債券(円ヘッジ)の値動きの推移と円ドル相場

ヘッジ付き世界債券は為替相場変動の影響を低減しており、比較的日本債券に近い動きになっています。



期間：1998年6月末～2021年5月末

出所：ブルームバーグ、JPモルガンのデータを基にゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

世界債券（円ヘッジ）：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（グローバル、円ヘッジ）

日本債券：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス（日本）

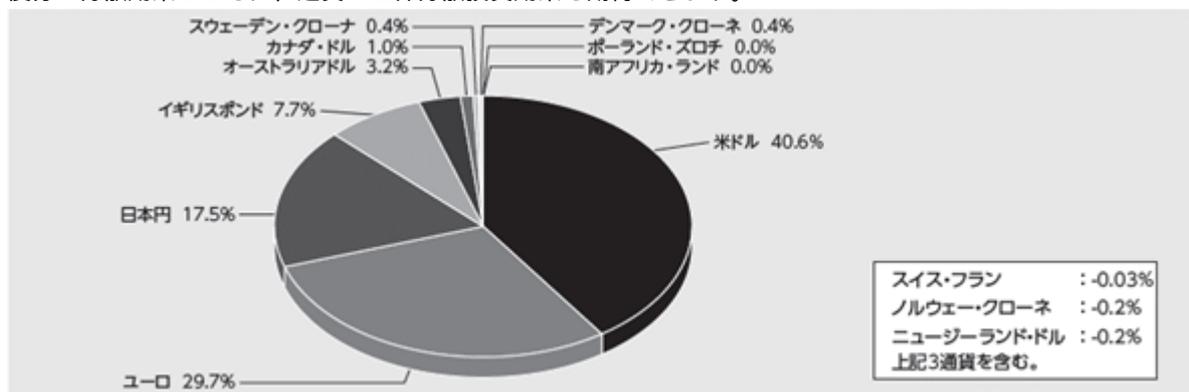
上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。上記はインデックスのデータであり、本ファンドの実績ではありません。信託報酬等の諸費用や、流動性等の市場要因は考慮されておりませんのでご注意ください。本ファンドの実績は、後記「5 運用状況（参考）運用実績」をご覧ください。

#### < Bコース（為替ヘッジなし）の特徴 >

（中略）

##### Bコースの通貨別構成比率

債券の分散効果とともに、通貨の世界分散投資効果も期待できます。



2021年5月末現在

上記はマザーファンドの数値です。

##### 先進7カ国の10年国債利回りと格付け

外国債券の利回りは、日本国債と比較して相対的に高い水準にあります。



2021年5月末現在

出所：ブルームバーグ、S & P（格付けは自国通貨建て長期債務）

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。信託報酬等の諸費用は考慮されておりませんのでご注意ください。上記の利回り水準は、将来大きく変動することがあります。

（中略）

## (3) ファンドの仕組み

(中略)

## 2. ファンドの関係法人

委託会社および本ファンドの関係法人の名称および関係業務

(中略)

&lt;ご参考&gt; ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GSAM)とは

ゴールドマン・サックスは、1869年(明治2年)創立の世界有数の金融グループのひとつであり、世界の主要都市に拠点を有し、世界中の政府機関・企業・金融機関等に対して、投資銀行業務・証券売買業務・為替商品取引・資産運用業務など、多岐にわたる金融サービスを提供しています。

ゴールドマン・サックスの資産運用部門であるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GSAM)は、1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2020年12月末現在、グループ全体で1兆9,538億米ドル(約202兆円\*)の資産を運用しています。

\*米ドルの円貨換算は便宜上、2020年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=103.50円)により、計算しております。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの東京拠点です。

(後略)

[次へ](#)

## 2 投資方針

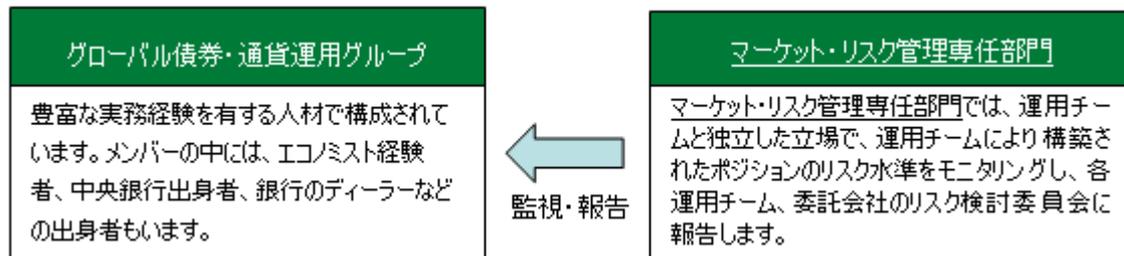
### (3) 運用体制

< 訂正前 >

#### a. 組織

本ファンドの運用は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのグローバル債券・通貨運用グループによって行われます。同グループは世界各地に運用拠点を展開し、幅広い調査能力ならびに専門性を活用した運用を行っています。なお、本ファンドにおいて債券はG S A Mロンドン、G S A MニューヨークおよびG S A Mシンガポールが運用を担当しており、通貨についてはG S A MロンドンおよびG S A Mシンガポールが主に運用を担当しております。

また、運用チームとは独立したマーケット・リスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。



(注1) 本書上、リスク管理とは、ベンチマークの収益率と本ファンドの収益率とのかい離の散らばり具合を、一定の範囲に留めることをめざすことです。かい離幅がかかる一定の範囲におさまることを保証するものではなく、また、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

(注2) 上記運用体制およびリスク管理体制は、将来変更される場合があります。

#### b. 運用体制に関する社内規則等

ファンドの運用に関する社内規則として、ポートフォリオ・マネジャーが遵守すべき服務規程のほか、有価証券などの売買執行基準およびその遵守手続などに関して取扱い基準を設けることにより、法令遵守の徹底を図るとともに、利益相反となる取引、インサイダー取引等を防止し、かつ売買執行においては最良執行に努めています（運用の全部または一部を海外に外部委託する場合には、現地の法令および諸規則にもあわせて従うこととなります。）。

#### c. 内部管理体制

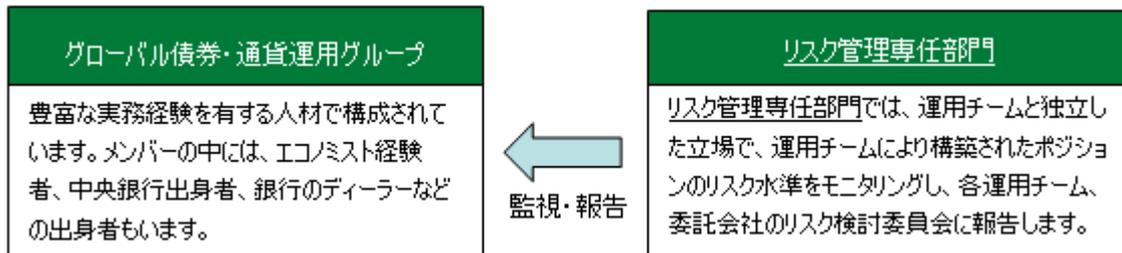
委託会社は、リスク検討委員会を設置しています。リスク検討委員会は、法務部、コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項等（ファンドの運営に大きな影響を与えると判断された流動性に関する事項を含みます。）に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

## &lt;訂正後&gt;

## a. 組織

本ファンドの運用は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントのグローバル債券・通貨運用グループによって行われます。同グループは世界各地に運用拠点を展開し、幅広い調査能力ならびに専門性を活用した運用を行っています。なお、本ファンドにおいて債券はG S A Mロンドン、G S A MニューヨークおよびG S A Mシンガポールが運用を担当しており、通貨についてはG S A MロンドンおよびG S A Mシンガポールが主に運用を担当しております。

また、運用チームとは独立したリスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。



(注1) 本書上、リスク管理とは、ベンチマークの収益率と本ファンドの収益率とのかい離の散らばり具合を、一定の範囲に留めることをめざすことです。かい離幅がかかる一定の範囲におさまることを保証するものではなく、また、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

(注2) 上記運用体制およびリスク管理体制は、将来変更される場合があります。

## b. 運用体制に関する社内規則等

ファンドの運用に関する社内規則として、ポートフォリオ・マネジャーが遵守すべき服務規程のほか、有価証券などの売買執行基準およびその遵守手続などに関して取扱い基準を設けることにより、法令遵守の徹底を図るとともに、利益相反となる取引、インサイダー取引等を防止し、かつ売買執行においては最良執行に努めています（運用の全部または一部を海外に外部委託する場合には、現地の法令および諸規則にもあわせて従うこととなります。）。

## c. 内部管理体制

委託会社は、リスク検討委員会を設置しています。リスク検討委員会は、法務部、コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、リスク管理専任部門からの報告事項等（ファンドの運営に大きな影響を与えると判断された流動性に関する事項を含みます。）に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

[次へ](#)

### 3 投資リスク

<訂正前>

#### (1) 投資リスク

(中略)

##### (a) 元本の変動リスク（本ファンドの投資内容に伴うリスク）

(中略)

(中略)



期間：1999年1月末～2020年11月末

出所：ブルームバーグ

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

(中略)

#### (2) 投資リスクに対する管理体制

運用チームとは独立したマーケット・リスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームと独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、委託会社のリスク検討委員会に報告します。

リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項等（ファンドの運営に大きな影響を与えると判断された流動性に関する事項を含みます。）に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

（注1）本書上、リスク管理とは、ベンチマークの収益率と本ファンドの収益率との乖離の散らばり具合を、一定の範囲に留めることを目指すことです。乖離幅がかかる一定の範囲におさまることを保証するものではなく、また、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

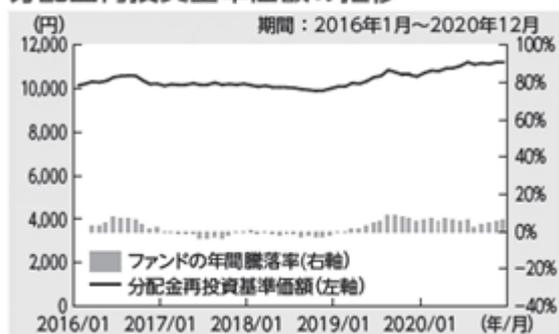
（注2）上記リスク管理体制は、将来変更される場合があります。

## (3) 参考情報

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

### ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)

#### 本ファンドの年間騰落率および 分配金再投資基準価額の推移



#### 本ファンドと他の代表的な 資産クラスとの騰落率の比較



### ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)

#### 本ファンドの年間騰落率および 分配金再投資基準価額の推移



#### 本ファンドと他の代表的な 資産クラスとの騰落率の比較



● 年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

● グラフは、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。  
● すべての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。  
● 上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

● 左右グラフのファンドの騰落率については、ファンド設定1年後の2016年3月末以降のデータを表示しています。

#### ● 各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)  
先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)  
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)  
日本国債：NOMURA-BPI 国債  
先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)  
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

本ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算した基準価額および当該基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<訂正後>

(1) 投資リスク

(中略)

(a) 元本の変動リスク（本ファンドの投資内容に伴うリスク）

(中略)

(中略)



期間：1999年1月末～2021年5月末

出所：ブルームバーグ

上記は過去のデータであり、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

(中略)

(2) 投資リスクに対する管理体制

運用チームとは独立したリスク管理専任部門がファンドのリスク管理を行います。リスク管理専任部門では、運用チームと独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、委託会社のリスク検討委員会に報告します。

リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、リスク管理専任部門からの報告事項等（ファンドの運営に大きな影響を与えると判断された流動性に関する事項を含みます。）に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。

（注1）本書上、リスク管理とは、ベンチマークの収益率と本ファンドの収益率とのかい離の散らばり具合を、一定の範囲に留めることを目指すことです。かい離幅がかかる一定の範囲におさまることを保証するものではなく、また、必ずしもリスクの低減を目的とするものではありません。

（注2）上記リスク管理体制は、将来変更される場合があります。

## (3) 参考情報

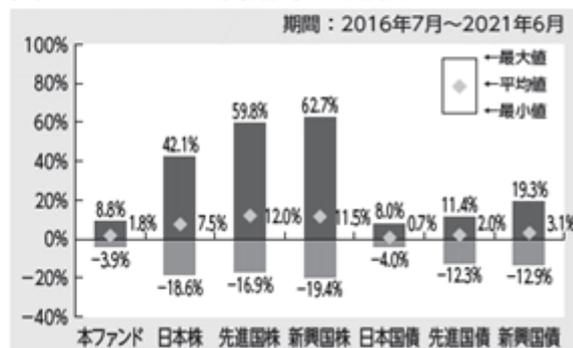
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

### ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)

#### 本ファンドの年間騰落率および 分配金再投資基準価額の推移



#### 本ファンドと他の代表的な 資産クラスとの騰落率の比較



### ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)

#### 本ファンドの年間騰落率および 分配金再投資基準価額の推移



#### 本ファンドと他の代表的な 資産クラスとの騰落率の比較



● 年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

● グラフは、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

● すべての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

● 上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

#### ● 各資産クラスの指数

- 日本株：東証株価指数(TOPIX) (配当込み)
- 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI 国債
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

本ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算した基準価額および当該基準価額の年間騰落率が記載されており、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

[次へ](#)

## 5 運用状況

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

(1) 投資状況

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	10,697,572,422	100.04
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		4,393,425	0.04
合計(純資産総額)		10,693,178,997	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	日本	9,849,424,652	100.04
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		4,044,070	0.04
合計(純資産総額)		9,845,380,582	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 参考情報

## &lt;世界債券オープンAコース（限定為替ヘッジ）マザーファンド&gt;

（2021年6月30日現在）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	8,811,882,130	30.35
	アメリカ	5,231,352,901	18.02
	カナダ	795,715,956	2.74
	ドイツ	1,388,582,434	4.78
	イタリア	297,097,083	1.02
	フランス	1,424,796,175	4.91
	イギリス	1,318,244,797	4.54
	スペイン	1,077,358,336	3.71
	ベルギー	308,413,355	1.06
	オーストリア	159,561,592	0.55
	デンマーク	55,684,080	0.19
	小計	20,868,688,839	71.89
地方債証券	カナダ	512,628,457	1.77
特殊債券	アメリカ	482,669,435	1.66
	フランス	53,139,458	0.18
	オランダ	79,012,237	0.27
	国際機関	756,530,482	2.61
小計	1,371,351,612	4.72	
社債券	日本	129,897,125	0.45
	アメリカ	1,555,217,388	5.36
	カナダ	128,470,594	0.44
	ドイツ	157,257,417	0.54
	イタリア	61,669,243	0.21
	フランス	476,341,386	1.64
	オーストラリア	209,495,096	0.72
	イギリス	993,078,544	3.42
	スイス	150,087,414	0.52
	オランダ	301,608,653	1.04
	スペイン	221,271,215	0.76
	ベルギー	25,665,995	0.09
	オーストリア	53,032,003	0.18
	ルクセンブルク	194,013,066	0.67
	デンマーク	33,493,689	0.12
	アイルランド	168,125,959	0.58
	ケイマン	23,575,715	0.08
	ジャージー	75,316,381	0.26
小計	4,957,616,883	17.08	
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	1,319,961,074	4.54
合計（純資産総額）	-	29,030,246,865	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## &lt;世界債券オープンBコース（為替ヘッジなし）マザーファンド&gt;

（2021年6月30日現在）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	15,556,887,324	40.12
	アメリカ	5,474,460,568	14.12
	カナダ	348,887,544	0.90
	ドイツ	1,238,376,250	3.19
	イタリア	423,732,001	1.09
	フランス	2,109,613,339	5.44
	イギリス	1,358,723,860	3.50
	スペイン	1,196,590,102	3.09
	ベルギー	516,104,568	1.33
	デンマーク	76,101,577	0.20
	小計	28,299,477,133	72.99
地方債証券	カナダ	185,842,179	0.48
特殊債券	アメリカ	634,765,840	1.64
	ドイツ	62,323,423	0.16
	フランス	66,424,322	0.17
	オランダ	167,141,272	0.43
	国際機関	1,190,538,358	3.07
小計	2,121,193,215	5.47	
社債券	日本	53,300,426	0.14
	アメリカ	1,801,200,254	4.65
	カナダ	122,352,947	0.32
	ドイツ	332,057,767	0.86
	イタリア	84,389,491	0.22
	フランス	689,902,062	1.78
	オーストラリア	265,597,893	0.69
	イギリス	1,406,960,716	3.63
	スイス	166,365,377	0.43
	オランダ	406,168,587	1.05
	スペイン	261,813,839	0.68
	オーストリア	79,548,005	0.21
	ルクセンブルク	231,079,480	0.60
	デンマーク	46,891,165	0.12
	アイルランド	193,156,052	0.50
	ケイマン	29,469,644	0.08
	ジャージー	108,125,533	0.28
小計	6,278,379,238	16.19	
現金・預金・その他の資産（負債控除後）	-	1,886,946,766	4.87
合計（純資産総額）	-	38,771,838,531	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## (2) 投資資産

## 投資有価証券の主要銘柄

&lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)&gt;

(2021年6月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	世界債券オープンAコース(限 定為替ヘッジ)マザーファンド	6,002,790,204	1.8067	10,845,802,959	1.7821	10,697,572,422	100.04

## 種類別及び業種別投資比率

(2021年6月30日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

&lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)&gt;

(2021年6月30日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	世界債券オープンBコース(為 替ヘッジなし)マザーファンド	3,901,843,938	2.4603	9,600,061,691	2.5243	9,849,424,652	100.04

## 種類別及び業種別投資比率

(2021年6月30日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 参考情報

## &lt;世界債券オープンAコース（限定為替ヘッジ）マザーファンド&gt;

（2021年6月30日現在）

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	第425回利付国債 (2年)	2,058,900,000	100.24	2,063,881,045	100.23	2,063,635,470	0.005	2023/6/1	7.11
2	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.375%	13,565,000	11,467.05	1,555,506,639	11,440.27	1,551,873,776	2.375	2023/1/31	5.35
3	日本	国債証券	第987回国庫短期 証券	1,441,500,000	100.01	1,441,698,926	100.00	1,441,599,462	-	2021/7/26	4.97
4	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625%	9,940,000	11,514.14	1,144,505,764	11,458.85	1,139,009,938	1.625	2026/5/15	3.92
5	ドイツ	国債証券	BUNDES OBLIGATION 0%	7,100,000	13,381.01	950,051,986	13,370.03	949,272,165	0	2023/10/13	3.27
6	日本	国債証券	第176回利付国債 (20年)	907,000,000	101.20	917,887,215	101.08	916,868,160	0.5	2041/3/20	3.16
7	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.625%	7,720,000	11,618.67	896,961,725	11,581.09	894,060,553	2.625	2023/6/30	3.08
8	日本	国債証券	第135回利付国債 (5年)	792,700,000	100.41	795,950,070	100.37	795,696,406	0.1	2023/3/20	2.74
9	イギリス	国債証券	UK TREASURY 4.25%	3,050,000	25,020.40	763,122,306	25,335.84	772,743,136	4.25	2046/12/7	2.66
10	カナダ	国債証券	CANADIAN GOVT 2.25%	7,550,000	9,582.46	723,476,187	9,581.84	723,429,071	2.25	2029/6/1	2.49
11	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.875%	5,490,000	11,763.81	645,833,248	11,715.43	643,177,255	2.875	2023/10/31	2.22
12	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF) 1%	3,470,000	14,209.97	493,086,059	14,169.45	491,680,035	1	2027/5/25	1.69
13	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF) 0%	3,460,000	13,088.44	452,860,183	13,072.85	452,320,780	0	2030/11/25	1.56
14	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG D EST 1.5%	3,120,000	14,413.69	449,707,211	14,381.59	448,705,815	1.5	2027/4/30	1.55
15	日本	国債証券	第998回国庫短期 証券	434,950,000	100.01	435,032,205	100.01	435,031,335	-	2021/9/6	1.50
16	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.625%	3,550,000	12,105.05	429,729,430	12,111.96	429,974,779	2.625	2029/2/15	1.48
17	イギリス	国債証券	UK TREASURY 3.5%	1,850,000	22,137.43	409,542,456	22,394.68	414,301,623	3.5	2045/1/22	1.43
18	国際機関	特殊債券	INTL DEVT ASSOC 0.75%	2,340,000	15,503.71	362,787,046	15,484.61	362,339,981	0.75	2024/12/12	1.25
19	日本	国債証券	第354回利付国債 (10年)	354,100,000	100.93	357,410,835	101.12	358,073,002	0.1	2029/3/20	1.23
20	国際機関	特殊債券	DEXIA CREDIT LOCAL 0.25%	2,300,000	14,911.14	342,956,408	14,911.58	342,966,451	0.25	2026/12/10	1.18
21	フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.5%	1,380,000	22,764.30	314,147,356	22,668.02	312,818,707	4.5	2041/4/25	1.08
22	アメリカ	社債券	FORDR 2018-1 A	2,600,000	12,011.49	312,298,866	11,933.62	310,274,235	3.19	2031/7/15	1.07
23	日本	国債証券	第20回利付国債 (物価連動・10 年)	284,200,000	102.00	295,101,912	101.80	293,944,649	0.1	2025/3/10	1.01
24	日本	国債証券	第21回利付国債 (物価連動・10 年)	282,600,000	102.05	293,235,423	102.15	293,029,132	0.1	2026/3/10	1.01
25	日本	国債証券	第34回利付国債 (30年)	202,500,000	132.87	269,067,825	133.14	269,608,500	2.2	2041/3/20	0.93
26	日本	国債証券	第24回利付国債 (30年)	200,300,000	132.83	266,060,493	133.28	266,971,858	2.5	2036/9/20	0.92
27	日本	国債証券	第23回利付国債 (物価連動・10 年)	237,000,000	102.65	245,869,004	102.60	245,335,868	0.1	2028/3/10	0.85
28	日本	国債証券	第25回利付国債 (30年)	183,150,000	130.16	238,402,692	130.63	239,252,508	2.3	2036/12/20	0.82
29	日本	国債証券	第14回利付国債 (40年)	243,900,000	99.22	241,997,580	98.01	239,068,341	0.7	2061/3/20	0.82
30	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.25%	2,030,000	11,681.74	237,139,328	11,626.45	236,016,941	2.25	2024/4/30	0.81

(注) 物価連動国債の帳簿価額金額、評価額金額は連動係数を考慮しております。

## 種類別及び業種別投資比率

(2021年6月30日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	71.89
地方債証券	1.77
特殊債券	4.72
社債券	17.08
合計	95.45

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## &lt;世界債券オープンBコース（為替ヘッジなし）マザーファンド&gt;

（2021年6月30日現在）

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	第987回国庫短期証券	3,318,000,000	100.01	3,318,457,884	100.00	3,318,228,942	-	2021/7/26	8.56
2	日本	国債証券	第425回利付国債（2年）	2,842,750,000	100.24	2,849,779,567	100.23	2,849,288,325	0.005	2023/6/1	7.35
3	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625%	13,500,000	11,514.14	1,554,409,238	11,458.85	1,546,945,088	1.625	2026/5/15	3.99
4	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.625%	11,410,000	11,618.67	1,325,690,841	11,581.09	1,321,402,969	2.625	2023/6/30	3.41
5	日本	国債証券	第176回利付国債（20年）	1,212,100,000	101.20	1,226,649,496	101.08	1,225,287,648	0.5	2041/3/20	3.16
6	日本	国債証券	第989回国庫短期証券	1,168,200,000	100.04	1,168,684,803	100.03	1,168,592,515	-	2021/10/25	3.01
7	日本	国債証券	第992回国庫短期証券	1,162,350,000	100.01	1,162,560,385	100.01	1,162,479,020	-	2021/8/10	3.00
8	ドイツ	国債証券	BUNDES OBLIGATION 0%	8,390,000	13,381.01	1,122,667,064	13,370.03	1,121,745,559	0	2023/10/13	2.89
9	日本	国債証券	第328回利付国債（10年）	1,027,450,000	101.29	1,040,734,928	101.22	1,039,995,164	0.6	2023/3/20	2.68
10	フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 2.75%	5,660,000	15,753.47	891,646,415	15,700.94	888,673,283	2.75	2027/10/25	2.29
11	イギリス	国債証券	UK TREASURY 4.25%	3,180,000	25,020.40	795,648,832	25,335.84	805,679,729	4.25	2046/12/7	2.08
12	日本	国債証券	第156回利付国債（20年）	684,300,000	101.77	696,446,325	102.12	698,868,747	0.4	2036/3/20	1.80
13	国際機関	特殊債券	INTERAMER DEV BK 7%	5,010,000	13,780.68	690,412,393	13,679.10	685,323,058	7	2025/6/15	1.77
14	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 0.125%	5,580,000	11,064.04	617,373,845	11,061.02	617,205,122	0.125	2022/5/31	1.59
15	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.75%	5,320,000	11,260.58	599,063,173	11,247.62	598,373,780	1.75	2022/7/15	1.54
16	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG D EST 1.5%	4,060,000	14,413.69	585,195,922	14,381.59	583,892,822	1.5	2027/4/30	1.51
17	日本	国債証券	第998回国庫短期証券	581,400,000	100.01	581,509,884	100.01	581,508,721	-	2021/9/6	1.50
18	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.125%	4,700,000	11,270.52	529,714,483	11,254.97	528,983,619	2.125	2022/5/15	1.36
19	日本	国債証券	第21回利付国債（物価連動・10年）	507,400,000	102.05	526,495,590	102.15	526,125,201	0.1	2026/3/10	1.36
20	フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 4.5%	2,300,000	22,764.30	523,578,927	22,668.02	521,364,512	4.5	2041/4/25	1.34
21	日本	国債証券	第357回利付国債（10年）	495,750,000	100.72	499,339,230	100.93	500,370,390	0.1	2029/12/20	1.29
22	日本	国債証券	第20回利付国債（物価連動・10年）	476,500,000	102.00	494,778,540	101.80	492,838,232	0.1	2025/3/10	1.27
23	日本	国債証券	第24回利付国債（30年）	363,600,000	132.83	482,973,516	133.28	484,627,896	2.5	2036/9/20	1.25
24	イギリス	国債証券	UK TREASURY 3.5%	1,820,000	22,137.43	402,901,226	22,394.68	407,583,219	3.5	2045/1/22	1.05
25	日本	国債証券	第14回利付国債（40年）	332,050,000	99.22	329,460,010	98.01	325,472,089	0.7	2061/3/20	0.84
26	フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF) 0%	2,380,000	13,088.26	311,500,650	13,072.85	311,133,948	0	2030/11/25	0.80
27	アメリカ	社債券	FORDR 2018-1 A	2,600,000	12,011.49	312,298,866	11,933.62	310,274,235	3.19	2031/7/15	0.80
28	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI 2.95%	1,880,000	16,226.15	305,051,700	16,175.57	304,100,883	2.95	2038/9/1	0.78
29	ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM 0.9%	2,110,000	14,252.65	300,731,019	14,221.01	300,063,478	0.9	2029/6/22	0.77
30	スペイン	国債証券	SPANISH GOV'T 3.45%	1,400,000	20,199.78	282,797,034	20,022.26	280,311,777	3.45	2066/7/30	0.72

（注）物価連動国債の帳簿価額金額、評価額金額は連動係数を考慮しております。

## 種類別及び業種別投資比率

(2021年6月30日現在)

種類	投資比率(%)
国債証券	72.99
地方債証券	0.48
特殊債券	5.47
社債券	16.19
合計	95.13

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

## 投資不動産物件

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

## 参考情報

<世界債券オープンAコース(限定為替ヘッジ)マザーファンド>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

<世界債券オープンBコース(為替ヘッジなし)マザーファンド>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

## その他投資資産の主要なもの

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

<ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)>

(2021年6月30日現在)

該当事項はありません。

## 参考情報

## &lt;世界債券オープンAコース（限定為替ヘッジ）マザーファンド&gt;

## 有価証券先物取引等

（2021年6月30日現在）

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建 / 売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額金額	評価額金額 (円)	投資比率 (%)
債券先物取引	日本	大阪証券取引所	長期国債標準物先物	売建	31	日本円	4,699,417,879	4,699,417,879	4,702,390,000	4,702,390,000	16.20
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 10Y 2109	売建	33	米ドル	4,825,810.44	533,638,118	4,841,718.75	535,397,259	1.84
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 10Y 2109	買建	100	米ドル	13,214,814.16	1,461,294,150	13,226,562.48	1,462,593,279	5.04
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 2Y 2109	売建	1	米ドル	220,248.3	24,355,057	220,296.87	24,360,428	0.08
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 20Y 2109	買建	4	米ドル	637,472.44	70,491,702	640,375	70,812,667	0.24
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 30Y 2109	買建	92	米ドル	17,274,044.54	1,910,163,845	17,623,750	1,948,834,275	6.71
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 5Y 2109	買建	114	米ドル	14,058,163.22	1,554,551,689	14,063,859.36	1,555,181,568	5.36
	カナダ	モンリオール取引所	MON 10Y 2109	買建	158	カナダドル	22,909,182.76	2,042,353,643	22,944,760	2,045,525,354	7.05
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BOBL 2109	買建	65	ユーロ	8,719,578.64	1,147,322,158	8,710,000	1,146,061,800	3.95
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BTP 2109	買建	40	ユーロ	6,029,600	793,374,768	6,030,400	793,480,032	2.73
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUND10Y 2109	買建	33	ユーロ	5,684,917.26	748,021,413	5,678,310	747,152,030	2.57
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUXL 2109	売建	1	ユーロ	203,318.62	26,752,664	201,700	26,539,686	0.09
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	FBTS 2109	買建	47	ユーロ	5,318,520	699,810,862	5,316,170	699,501,649	2.41
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	OAT 2109	買建	5	ユーロ	792,900	104,329,782	792,850	104,323,203	0.36
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	SCHATZ 2109	買建	109	ユーロ	12,225,321.42	1,608,607,792	12,222,170	1,608,193,128	5.54
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SFE10Y 2109	買建	155	オーストラリアドル	21,955,539.34	1,824,944,430	21,866,745.9	1,817,563,919	6.26
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SFE3Y 2109	買建	268	オーストラリアドル	31,343,562.55	2,605,276,919	31,214,155.64	2,594,520,617	8.94
	イギリス	インターコンチネンタル取引所	GILT 2109	売建	110	英ポンド	14,002,337.48	2,144,598,008	14,075,600	2,155,818,896	7.43

(注1) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価比率をいいます。

(注2) 評価額は、計算日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引については、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

## &lt;世界債券オープンBコース（為替ヘッジなし）マザーファンド&gt;

## 有価証券先物取引等

（2021年6月30日現在）

資産の種類	地域	取引所	資産の名称	買建 / 売建	数量	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額金額	評価額金額 (円)	投資比率 (%)
債券先物取引	日本	大阪証券取引所	長期国債標準物先物	売建	42	日本円	6,366,893,578	6,366,893,578	6,370,980,000	6,370,980,000	16.43
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 10Y 2109	売建	7	米ドル	1,026,330.8	113,491,660	1,027,031.25	113,569,116	0.29
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 10Y 2109	買建	103	米ドル	13,609,672.32	1,504,957,565	13,623,359.37	1,506,471,079	3.89
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 2Y 2109	買建	58	米ドル	12,790,344.48	1,414,356,292	12,777,218.72	1,412,904,846	3.64
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 20Y 2109	売建	3	米ドル	479,291.68	53,000,074	480,281.25	53,109,500	0.14
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 30Y 2109	買建	124	米ドル	23,272,117.29	2,573,430,730	23,753,750	2,626,689,675	6.77
	アメリカ	シカゴ商品取引所	CBT 5Y 2109	買建	149	米ドル	18,373,731.05	2,031,767,179	18,381,710.93	2,032,649,594	5.24
	カナダ	モントリオール取引所	MON 10Y 2109	買建	287	カナダドル	41,590,546.59	3,707,797,228	41,678,140	3,715,606,181	9.58
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BOBL 2109	買建	90	ユーロ	12,073,526.58	1,588,634,627	12,060,000	1,586,854,800	4.09
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BTP 2109	買建	53	ユーロ	7,989,220	1,051,221,567	7,990,280	1,051,361,042	2.71
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUND10Y 2109	買建	38	ユーロ	6,548,069.68	861,595,009	6,538,660	860,356,883	2.22
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUXL 2109	買建	23	ユーロ	4,645,779.32	611,291,643	4,639,100	610,412,778	1.57
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	FBTS 2109	買建	124	ユーロ	14,031,840	1,846,309,507	14,025,640	1,845,493,711	4.76
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	OAT 2109	買建	7	ユーロ	1,110,060	146,061,695	1,109,990	146,052,484	0.38
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	SCHATZ 2109	買建	110	ユーロ	12,337,184.02	1,623,326,673	12,334,300	1,622,947,194	4.19
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SFE10Y 2109	買建	209	オーストラリアドル	29,605,657.11	2,460,822,219	29,484,838.02	2,450,779,736	6.32
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SFE3Y 2109	買建	331	オーストラリアドル	38,712,135.29	3,217,752,684	38,551,811.63	3,204,426,582	8.26
	イギリス	インターコンチネンタル取引所	GILT 2109	売建	86	英ポンド	10,948,663.7	1,676,897,332	11,004,560	1,685,458,409	4.35

(注1) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価比率をいいます。

(注2) 評価額は、計算日に知りうる直近の日の、主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引については、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

## (3) 運用実績

## 純資産の推移

&lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)&gt;

2021年6月30日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

期別	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末 (2015年12月7日)	3,931	3,931	0.9974	0.9974
第2計算期間末 (2016年12月6日)	6,912	6,912	1.0157	1.0157
第3計算期間末 (2017年12月6日)	6,240	6,240	1.0219	1.0219
第4計算期間末 (2018年12月6日)	8,080	8,080	0.9970	0.9970
第5計算期間末 (2019年12月6日)	6,949	6,949	1.0565	1.0565
第6計算期間末 (2020年12月7日)	8,579	8,579	1.1174	1.1174
2020年6月末日	7,988	-	1.1043	-
7月末日	7,981	-	1.1214	-
8月末日	8,018	-	1.1108	-
9月末日	8,274	-	1.1175	-
10月末日	8,162	-	1.1128	-
11月末日	8,476	-	1.1216	-
12月末日	8,775	-	1.1220	-
2021年1月末日	9,450	-	1.1159	-
2月末日	9,405	-	1.0836	-
3月末日	9,589	-	1.0834	-
4月末日	10,210	-	1.0849	-
5月末日	10,345	-	1.0875	-
6月末日	10,693	-	1.0903	-

(注) 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)&gt;

2021年6月30日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

期別	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末 (2015年12月7日)	6,592	6,592	1.0193	1.0193
第2計算期間末 (2016年12月6日)	8,421	8,421	0.9673	0.9673
第3計算期間末 (2017年12月6日)	6,190	6,190	1.0065	1.0065
第4計算期間末 (2018年12月6日)	6,051	6,051	0.9781	0.9781
第5計算期間末 (2019年12月6日)	6,587	6,587	1.0147	1.0147
第6計算期間末 (2020年12月7日)	8,443	8,443	1.0675	1.0675
2020年6月末日	6,846	-	1.0539	-
7月末日	7,142	-	1.0664	-
8月末日	7,355	-	1.0655	-
9月末日	7,698	-	1.0677	-
10月末日	7,911	-	1.0523	-
11月末日	8,281	-	1.0653	-
12月末日	8,606	-	1.0718	-
2021年1月末日	8,929	-	1.0716	-
2月末日	9,343	-	1.0581	-
3月末日	9,046	-	1.0810	-
4月末日	9,433	-	1.0801	-
5月末日	9,596	-	1.0927	-
6月末日	9,845	-	1.0931	-

(注) 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

## 分配の推移

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)&gt;

期	期間	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	0.0000
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	0.0000
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	0.0000
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	0.0000
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	0.0000
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	0.0000

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)&gt;

期	期間	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	0.0000
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	0.0000
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	0.0000
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	0.0000
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	0.0000
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	0.0000

## 収益率の推移

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向け）&gt;

期	期間	収益率（％）
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	0.3
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	1.8
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	0.6
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	2.4
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	6.0
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	5.8
第7中間計算期間	2020年12月8日～2021年6月7日	2.6

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし（野村SMA・EW向け）&gt;

期	期間	収益率（％）
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	1.9
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	5.1
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	4.1
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	2.8
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	3.7
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	5.2
第7中間計算期間	2020年12月8日～2021年6月7日	2.3

## (4) 設定及び解約の実績

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向け）&gt;

下記計算期間中の設定及び解約の実績ならびに当該計算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	4,033,065,030	91,736,301	3,941,328,729
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	4,853,975,978	1,989,644,497	6,805,660,210
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	5,338,117,153	6,037,512,778	6,106,264,585
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	4,809,840,258	2,811,133,292	8,104,971,551
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	2,971,120,273	4,498,411,056	6,577,680,768
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	3,700,445,065	2,599,897,521	7,678,228,312
第7中間計算期間	2020年12月8日～2021年6月7日	3,154,669,833	1,229,697,607	9,603,200,538

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

## &lt;ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし（野村SMA・EW向け）&gt;

下記計算期間中の設定及び解約の実績ならびに当該計算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間	2015年3月12日～2015年12月7日	6,755,207,919	286,948,551	6,468,259,368
第2計算期間	2015年12月8日～2016年12月6日	3,574,815,725	1,337,023,508	8,706,051,585
第3計算期間	2016年12月7日～2017年12月6日	2,968,690,331	5,524,013,889	6,150,728,027
第4計算期間	2017年12月7日～2018年12月6日	3,089,860,542	3,053,787,735	6,186,800,834
第5計算期間	2018年12月7日～2019年12月6日	2,277,790,148	1,972,216,417	6,492,374,565
第6計算期間	2019年12月7日～2020年12月7日	3,117,697,433	1,700,731,194	7,909,340,804
第7中間計算期間	2020年12月8日～2021年6月7日	2,411,080,376	1,492,737,227	8,827,683,953

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

[次へ](#)

## (参考) 運用実績

最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

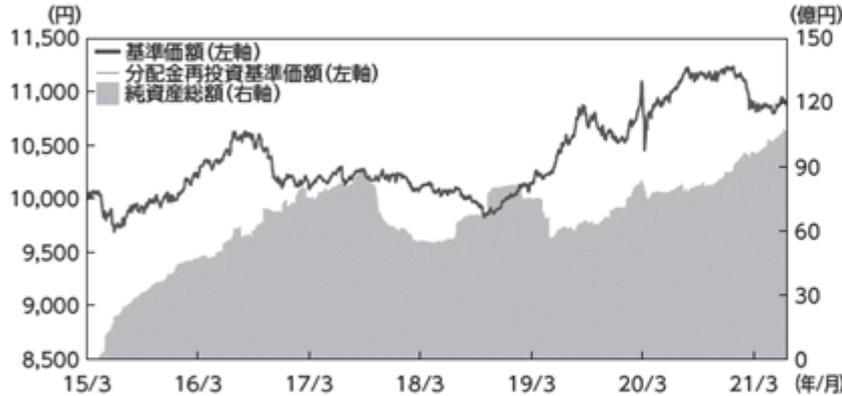
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2021年6月30日現在

## Aコース

## 基準価額・純資産の推移

2015年3月12日(設定日)～2021年6月30日



## 基準価額・純資産総額

基準価額	10,903円
純資産総額	106.9億円

期間別騰落率  
(分配金再投資)

期間	ファンド
1か月	0.26%
3か月	0.64%
6か月	-2.83%
1年	-1.27%
3年	8.41%
5年	3.53%
設定来	9.03%

- 分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- 基準価額および分配金再投資基準価額は、1万円当たりの値です。

## 分配の推移(1万円当たり、税引前)

決算日	16/12/6	17/12/6	18/12/6	19/12/6	20/12/7	設定来累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

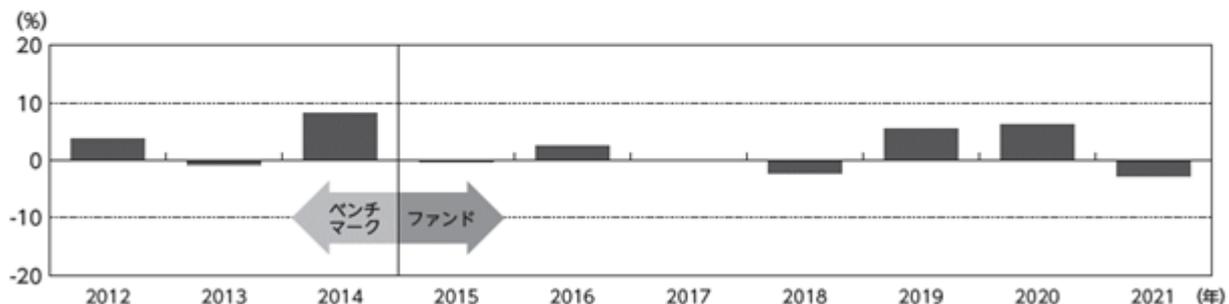
- 運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

## 主要な資産の状況

	銘柄名	償還日	格付け <sup>(注)</sup>	クーポン	比率
1	第425回利付国債(2年)	2023/ 6 / 1	A+/A1	0.005%	7.1%
2	アメリカ国債	2023/ 1 / 31	AA+/Aaa	2.375%	5.3%
3	第987回国庫短期証券	2021/ 7 / 26	A+/A1	0.000%	5.0%
4	アメリカ国債	2026/ 5 / 15	AA+/Aaa	1.625%	3.9%
5	ドイツ国債	2023/10/13	AAA/Aaa	0.000%	3.3%
6	第176回利付国債(20年)	2041/ 3 / 20	A+/A1	0.500%	3.2%
7	アメリカ国債	2023/ 6 / 30	AA+/Aaa	2.625%	3.1%
8	第135回利付国債(5年)	2023/ 3 / 20	A+/A1	0.100%	2.7%
9	イギリス国債	2046/12/ 7	AA/Aa3	4.250%	2.7%
10	カナダ国債	2029/ 6 / 1	AAA/Aaa	2.250%	2.5%

- (注)上記格付けは、S&P(左)とムーディーズ(右)の格付けを表記しています。  
NAは格付け機関からの開示がないことを表しています。

## 年間収益率の推移



- 本ファンドの収益率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。
- 2015年は設定日(3月12日)から年末まで、2021年は年初から運用実績作成基準日までの収益率を表示しています。
- 2012年から2014年まではベンチマークの収益率を表示しています。

最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

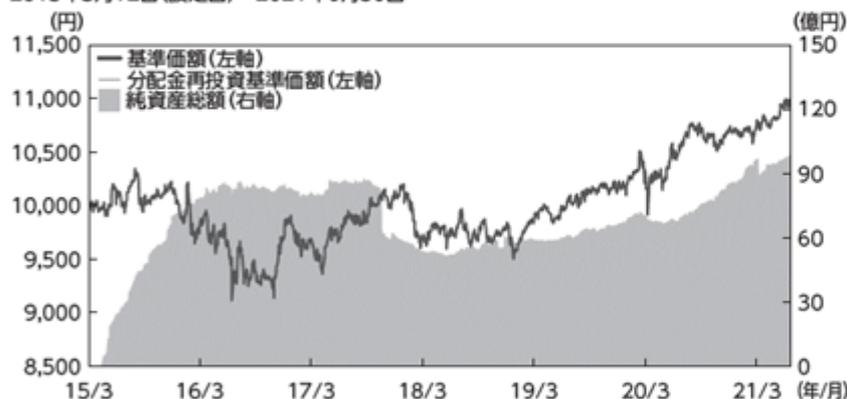
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2021年6月30日現在

## Bコース

### 基準価額・純資産の推移

2015年3月12日(設定日)～2021年6月30日



### 基準価額・純資産総額

基準価額	10,931円
純資産総額	98.5億円

### 期間別騰落率 (分配金再投資)

期間	ファンド
1か月	0.04%
3か月	1.12%
6か月	1.99%
1年	3.72%
3年	12.37%
5年	16.62%
設定来	9.31%

●分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

### 分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算日	16/12/6	17/12/6	18/12/6	19/12/6	20/12/7	設定来累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

●運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

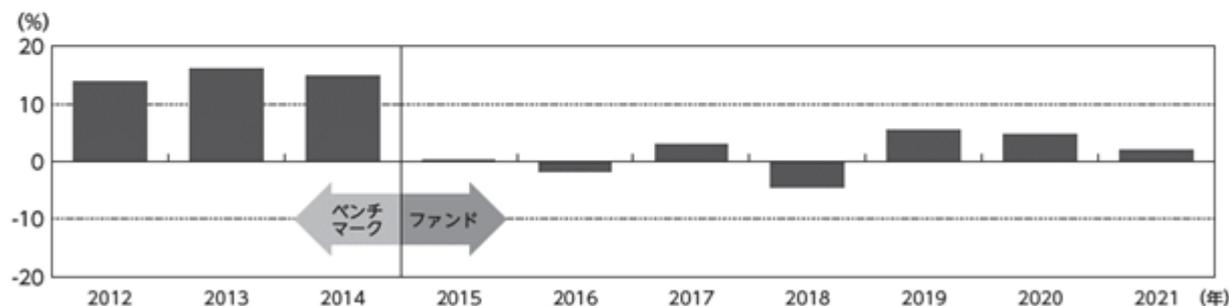
### 主要な資産の状況

	銘柄名	償還日	格付け <sup>(注)</sup>	クーポン	比率
1	第987回国庫短期証券	2021/7/26	A+/A1	0.000%	8.6%
2	第425回利付国債(2年)	2023/6/1	A+/A1	0.005%	7.3%
3	アメリカ国債	2026/5/15	AA+/Aaa	1.625%	4.0%
4	アメリカ国債	2023/6/30	AA+/Aaa	2.625%	3.4%
5	第176回利付国債(20年)	2041/3/20	A+/A1	0.500%	3.2%
6	第989回国庫短期証券	2021/10/25	A+/A1	0.000%	3.0%
7	第992回国庫短期証券	2021/8/10	A+/A1	0.000%	3.0%
8	ドイツ国債	2023/10/13	AAA/Aaa	0.000%	2.9%
9	第328回利付国債(10年)	2023/3/20	A+/A1	0.600%	2.7%
10	フランス国債	2027/10/25	AA/Aa2	2.750%	2.3%

(注) 上記格付けは、S&P(左)とムーディーズ(右)の格付けを表記しています。

NAは格付け機関からの開示がないことを表しています。

### 年間収益率の推移



●本ファンドの収益率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

●2015年は設定日(3月12日)から年末まで、2021年は年初から運用実績作成基準日までの収益率を表示しています。

●2012年から2014年まではベンチマークの収益率を表示しています。

### 第3【ファンドの経理状況】

#### 1 財務諸表

原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」については、以下の内容が追加されます。

<追加>

(1) ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)及びゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。

なお、中間財務諸表に掲載している金額は、円単位で表示しております。

(2) A限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)及びB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第7期中間計算期間(2020年12月8日から2021年6月7日まで)の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による中間監査を受けております。

## 中間財務諸表

【ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)】

(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第6期 (2020年12月7日現在)	第7期中間計算期間 (2021年6月7日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	8,606,003,356	10,486,771,037
未収入金	12,629,269	84,134,655
流動資産合計	8,618,632,625	10,570,905,692
資産合計	8,618,632,625	10,570,905,692
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	12,629,269	84,134,655
未払受託者報酬	1,770,267	2,105,728
未払委託者報酬	24,341,144	28,953,625
その他未払費用	383,353	432,413
流動負債合計	39,124,033	115,626,421
負債合計	39,124,033	115,626,421
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	7,678,228,312	9,603,200,538
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	901,280,280	852,078,733
(分配準備積立金)	486,708,093	423,994,756
元本等合計	8,579,508,592	10,455,279,271
純資産合計	8,579,508,592	10,455,279,271
負債純資産合計	8,618,632,625	10,570,905,692

## (2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第6期中間計算期間 自 2019年12月7日 至 2020年6月6日	第7期中間計算期間 自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
営業収益		
有価証券売買等損益	273,456,521	215,344,838
営業収益合計	273,456,521	215,344,838
営業費用		
受託者報酬	1,673,214	2,105,728
委託者報酬	23,006,579	28,953,625
その他費用	455,014	432,413
営業費用合計	25,134,807	31,491,766
営業利益又は営業損失( )	248,321,714	246,836,604
経常利益又は経常損失( )	248,321,714	246,836,604
中間純利益又は中間純損失( )	248,321,714	246,836,604
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額( )	14,657,954	26,703,753
期首剰余金又は期首欠損金( )	371,888,245	901,280,280
剰余金増加額又は欠損金減少額	131,899,023	312,392,407
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	131,899,023	312,392,407
剰余金減少額又は欠損金増加額	76,704,413	141,461,103
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	76,704,413	141,461,103
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金( )	660,746,615	852,078,733

[次へ](#)

## (3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第6期 自 2019年12月7日 至 2020年12月7日	第7期中間計算期間 自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託 受益証券の基準価額で評価しており ます。	親投資信託受益証券 同左
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間の取扱い 2020年12月6日が休業日のため、 当計算期間末日は2020年12月7日と しております。	中間計算期間の取扱い 2020年12月6日が休業日のため、 当中間計算期間期首は2020年12月8 日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区分	第6期 (2020年12月7日現在)	第7期中間計算期間 (2021年6月7日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	6,577,680,768円	7,678,228,312円
期中追加設定元本額	3,700,445,065円	3,154,669,833円
期中一部解約元本額	2,599,897,521円	1,229,697,607円
2. 受益権の総数	7,678,228,312口	9,603,200,538口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	第6期 自 2019年12月7日 至 2020年12月7日	第7期中間計算期間 自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。	(1) 有価証券以外の金融商品 同左  (2) 有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

区分	第6期 (2020年12月7日現在)	第7期中間計算期間 (2021年6月7日現在)
1口当たり純資産額	1.1174円	1.0887円

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

## 【ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)】

## (1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第6期 (2020年12月7日現在)	第7期中間計算期間 (2021年6月7日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
親投資信託受益証券	8,467,575,841	9,672,421,772
未収入金	29,691,278	14,504,427
流動資産合計	8,497,267,119	9,686,926,199
資産合計	8,497,267,119	9,686,926,199
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払解約金	29,691,278	14,504,427
未払受託者報酬	1,634,261	2,005,884
未払委託者報酬	22,471,007	27,580,838
その他未払費用	381,960	406,693
流動負債合計	54,178,506	44,497,842
負債合計	54,178,506	44,497,842
<b>純資産の部</b>		
元本等		
元本	7,909,340,804	8,827,683,953
剰余金		
剰余金又は欠損金( )	533,747,809	814,744,404
(分配準備積立金)	424,971,718	356,951,505
元本等合計	8,443,088,613	9,642,428,357
純資産合計	8,443,088,613	9,642,428,357
負債純資産合計	8,497,267,119	9,686,926,199

## （２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第 6 期中間計算期間 自 2019年12月 7 日 至 2020年 6 月 6 日	第 7 期中間計算期間 自 2020年12月 8 日 至 2021年 6 月 7 日
<b>営業収益</b>		
有価証券売買等損益	297,404,279	247,586,838
<b>営業収益合計</b>	<b>297,404,279</b>	<b>247,586,838</b>
<b>営業費用</b>		
受託者報酬	1,496,638	2,005,884
委託者報酬	20,578,695	27,580,838
その他費用	405,817	406,693
<b>営業費用合計</b>	<b>22,481,150</b>	<b>29,993,415</b>
<b>営業利益又は営業損失（ ）</b>	<b>274,923,129</b>	<b>217,593,423</b>
経常利益又は経常損失（ ）	274,923,129	217,593,423
<b>中間純利益又は中間純損失（ ）</b>	<b>274,923,129</b>	<b>217,593,423</b>
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	8,914,874	11,918,931
<b>期首剰余金又は期首欠損金（ ）</b>	<b>95,312,115</b>	<b>533,747,809</b>
剰余金増加額又は欠損金減少額	21,610,477	176,717,117
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	21,610,477	176,717,117
剰余金減少額又は欠損金増加額	13,420,230	101,395,014
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	13,420,230	101,395,014
分配金	-	-
<b>中間剰余金又は中間欠損金（ ）</b>	<b>369,510,617</b>	<b>814,744,404</b>

[次へ](#)

## (3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第6期 自 2019年12月7日 至 2020年12月7日	第7期中間計算期間 自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託 受益証券の基準価額で評価しており ます。	親投資信託受益証券 同左
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間の取扱い 2020年12月6日が休業日のため、 当計算期間末日は2020年12月7日と しております。	中間計算期間の取扱い 2020年12月6日が休業日のため、 当中間計算期間期首は2020年12月8 日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

区分	第6期 (2020年12月7日現在)	第7期中間計算期間 (2021年6月7日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	6,492,374,565円	7,909,340,804円
期中追加設定元本額	3,117,697,433円	2,411,080,376円
期中一部解約元本額	1,700,731,194円	1,492,737,227円
2. 受益権の総数	7,909,340,804口	8,827,683,953口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

## (金融商品に関する注記)

## 金融商品の時価等に関する事項

区分	第 6 期 自 2019年12月 7 日 至 2020年12月 7 日	第 7 期中間計算期間 自 2020年12月 8 日 至 2021年 6 月 7 日
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。	(1) 有価証券以外の金融商品 同左  (2) 有価証券 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

## (デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

区分	第 6 期 (2020年12月 7 日現在)	第 7 期中間計算期間 (2021年 6 月 7 日現在)
1口当たり純資産額	1.0675円	1.0923円

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

[次へ](#)

## 参考情報

A限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向け）は、「世界債券オープンAコース（限定為替ヘッジ）マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。同親投資信託の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

## (1) 貸借対照表

区分	注記 番号	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
		金額(円)	金額(円)
資産の部			
流動資産			
預金		4,347,750	57,946,891
コール・ローン		1,332,829,992	868,982,360
国債証券		18,856,690,317	20,819,686,898
地方債証券		478,028,583	524,197,131
特殊債券		985,518,185	1,381,153,911
社債券		6,437,225,752	5,136,783,052
派生商品評価勘定		405,689,405	190,875,090
未収入金		1,527,212,879	881,483,746
未収利息		116,666,807	98,875,770
前払費用		3,921,353	4,277,684
差入委託証拠金		318,917,274	274,918,713
流動資産合計		30,467,048,297	30,239,181,246
資産合計		30,467,048,297	30,239,181,246
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		633,725,814	352,927,133
前受金		42,100	36,225
未払金		1,541,039,976	895,346,370
未払解約金		20,448,100	100,221,897
未払利息		3,400	2,061
流動負債合計		2,195,259,390	1,348,533,686
負債合計		2,195,259,390	1,348,533,686
純資産の部			
元本等			
元本		15,537,334,447	16,241,620,830
剰余金			
剰余金又は欠損金( )		12,734,454,460	12,649,026,730
元本等合計		28,271,788,907	28,890,647,560
純資産合計		28,271,788,907	28,890,647,560
負債純資産合計		30,467,048,297	30,239,181,246

## (2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 2019年12月7日 至 2020年12月7日	自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 同左
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	(1) 為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。 (2) 先物取引 個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。	(1) 為替予約取引 同左 (2) 先物取引 同左
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

## (貸借対照表に関する注記)

区分	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	17,883,982,140円	15,537,334,447円
期中追加設定元本額	3,707,352,652円	2,860,109,138円
期中一部解約元本額	6,054,000,345円	2,155,822,755円
期末元本額	15,537,334,447円	16,241,620,830円
元本の内訳		
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA 限定為替ヘッジ(確定拠出年金向け)	2,830,531,975円	2,725,645,611円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA 限定為替ヘッジ(野村SMA向け)	2,924,183,855円	2,718,570,620円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA 限定為替ヘッジ(野村SMA・EW向け)	4,729,612,748円	5,895,418,843円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープン Cコース(毎月分配型、限定為替ヘッジ)	1,661,413,935円	1,617,999,542円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープン Aコース(限定為替ヘッジ)	2,534,744,563円	2,365,354,768円
RH世界債券オープンA(限定為替ヘッジ)VA (適格機関投資家専用)	856,847,371円	918,631,446円
2. 受益権の総数	15,537,334,447口	16,241,620,830口



(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## (1) 債券関連

区分	種類	(2020年12月7日現在)				(2021年6月7日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引	債券先物取引								
	買建	9,703,859,593	-	9,637,175,491	66,684,102	13,584,518,494	-	13,644,377,766	59,859,272
	売建	5,439,822,943	-	5,423,402,509	16,420,434	7,982,145,383	-	8,001,190,673	19,045,290
	合計	15,143,682,536	-	15,060,578,000	50,263,668	21,566,663,877	-	21,645,568,439	40,813,982

## (2) 通貨関連

区分	種類	(2020年12月7日現在)				(2021年6月7日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引	為替予約取引								
	買建								
	米ドル	4,183,211,015	-	4,144,376,055	38,834,960	2,884,124,946	-	2,898,090,115	13,965,169
	カナダドル	1,335,244,521	-	1,356,999,581	21,755,060	326,575,016	-	346,517,050	19,942,034
	ユーロ	2,224,857,160	-	2,260,671,023	35,813,863	2,108,411,358	-	2,145,703,689	37,292,331
	英ポンド	561,880,290	-	573,720,984	11,840,694	334,623,215	-	339,087,550	4,464,335
	スイスフラン	-	-	-	-	213,379,755	-	213,786,290	406,535
	スウェーデン クローナ	725,822,093	-	745,893,138	20,071,045	634,078,780	-	655,213,106	21,134,326
	ノルウェー クローネ	1,564,178,354	-	1,599,316,663	35,138,309	194,590,241	-	205,340,642	10,750,401
	オーストラリ アドル	718,302,979	-	740,802,920	22,499,941	565,051,160	-	570,576,528	5,525,368
	ニュージーラ ンドドル	440,731,830	-	450,958,903	10,227,073	521,624,944	-	527,569,557	5,944,613
	売建								
	米ドル	15,026,044,841	-	14,798,960,327	227,084,514	12,074,414,848	-	12,166,356,284	91,941,436
	カナダドル	1,812,588,526	-	1,864,725,242	52,136,716	1,958,206,415	-	1,974,925,821	16,719,406
	ユーロ	8,747,960,456	-	8,976,935,975	228,975,519	7,577,823,067	-	7,731,548,656	153,725,589
	英ポンド	3,449,831,407	-	3,561,041,704	111,210,297	3,208,408,148	-	3,221,856,838	13,448,690
	スイスフラン	-	-	-	-	210,647,396	-	218,118,748	7,471,352
	スウェーデン クローナ	1,042,157,349	-	1,075,919,951	33,762,602	541,885,681	-	563,216,290	21,330,609
	ノルウェー クローネ	1,113,847,526	-	1,185,221,967	71,374,441	294,814,029	-	297,842,463	3,028,434
	デンマーク クローネ	47,009,104	-	47,881,186	872,082	49,186,813	-	49,194,765	7,952
	オーストラリ アドル	194,174,993	-	198,264,373	4,089,380	172,068,544	-	174,903,183	2,834,639
	ニュージーラ ンドドル	445,670,380	-	466,617,623	20,947,243	380,108,337	-	391,891,367	11,783,030
	合計		43,633,512,824	-	44,048,307,615	177,772,741		34,691,738,942	202,866,025

## (注) 時価の算定方法

## ・先物取引

1. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
2. 主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引について、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

## ・為替予約取引

1. 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
  - (1) 予約為替の受渡し日(以下「当該日」という。)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。
  - (2) 当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 

当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。
2. 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客相場の仲値により評価しております。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

区分	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
1口当たり純資産額	1.8196円	1.7788円

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

B為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)は、「世界債券オープンBコース(為替ヘッジなし)マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。同親投資信託の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
		金額(円)	金額(円)
資産の部			
流動資産			
預金		8,090,155	233,858,495
コール・ローン		1,750,763,910	659,122,503
国債証券		27,098,507,671	28,593,086,551
地方債証券		176,711,965	188,588,655
特殊債券		1,930,275,345	2,136,755,475
社債券		8,058,775,430	6,552,145,777
派生商品評価勘定		421,293,439	348,244,575
未収入金		2,154,986,908	1,204,470,090
未収利息		135,921,706	135,543,439
前払費用		7,770,773	1,887,808
差入委託証拠金		394,655,302	379,049,532
流動資産合計		42,137,752,604	40,432,752,900
資産合計		42,137,752,604	40,432,752,900
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		527,323,302	221,928,810
前受金		44,300	46,889
未払金		2,165,039,906	1,201,982,547
未払解約金		76,196,891	36,700,145
未払利息		4,466	1,563
流動負債合計		2,768,608,865	1,460,659,954
負債合計		2,768,608,865	1,460,659,954
純資産の部			
元本等			
元本		16,028,220,759	15,456,526,523
剰余金			
剰余金又は欠損金( )		23,340,922,980	23,515,566,423
元本等合計		39,369,143,739	38,972,092,946
純資産合計		39,369,143,739	38,972,092,946
負債純資産合計		42,137,752,604	40,432,752,900

## (2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 2019年12月7日 至 2020年12月7日	自 2020年12月8日 至 2021年6月7日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 同左
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	(1) 為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。 (2) 先物取引 個別法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。	(1) 為替予約取引 同左 (2) 先物取引 同左
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。	外貨建取引等の処理基準 同左

## (貸借対照表に関する注記)

区分	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
1. 元本の推移		
期首元本額	16,687,093,460円	16,028,220,759円
期中追加設定元本額	2,456,153,298円	1,753,877,774円
期中一部解約元本額	3,115,025,999円	2,325,572,010円
期末元本額	16,028,220,759円	15,456,526,523円
元本の内訳		
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB 為替ヘッジなし(確定拠出年金向け)	2,974,023,731円	2,404,354,774円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB 為替ヘッジなし(野村SMA向け)	1,362,425,259円	1,132,600,233円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB 為替ヘッジなし(野村SMA・EW向け)	3,447,429,298円	3,836,131,424円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープン Dコース(毎月分配型、為替ヘッジなし)	274,593,013円	224,720,081円
ゴールドマン・サックス・世界債券オープン Bコース(為替ヘッジなし)	1,513,813,908円	1,437,873,024円
RH世界債券オープンB(為替ヘッジなし)VA (適格機関投資家専用)	6,455,935,550円	6,420,846,987円
2. 受益権の総数	16,028,220,759口	15,456,526,523口



## (デリバティブ取引等に関する注記)

## 取引の時価等に関する事項

## ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

## (1) 債券関連

区分	種類	(2020年12月7日現在)				(2021年6月7日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引	債券先物取引								
	買建	13,999,956,712	-	13,911,264,519	88,692,193	21,441,317,460	-	21,532,666,889	91,349,429
	売建	2,329,905,450	-	2,324,978,442	4,927,008	8,881,153,921	-	8,901,071,839	19,917,918
	合計	16,329,862,162	-	16,236,242,961	83,765,185	30,322,471,381	-	30,433,738,728	71,431,511

## (2) 通貨関連

区分	種類	(2020年12月7日現在)				(2021年6月7日現在)			
		契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち 1年超 (円)	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引 以外の 取引	為替予約取引								
	買建								
	米ドル	11,235,317,035	-	11,100,465,110	134,851,925	11,566,648,878	-	11,632,316,139	65,667,261
	カナダドル	2,241,943,262	-	2,280,810,792	38,867,530	662,983,527	-	691,236,154	28,252,627
	ユーロ	5,201,911,530	-	5,310,373,641	108,462,111	4,464,154,356	-	4,543,383,540	79,229,184
	英ポンド	784,476,220	-	802,830,814	18,354,594	651,132,682	-	655,895,148	4,762,466
	スイスフラン	-	-	-	-	288,439,796	-	288,989,335	549,539
	スウェーデン クローナ	858,214,105	-	883,031,300	24,817,195	873,674,260	-	902,816,796	29,142,536
	ノルウェー クローネ	2,164,948,604	-	2,213,548,328	48,599,724	310,062,258	-	327,192,067	17,129,809
	デンマーク クローネ	57,766,487	-	58,838,132	1,071,645	64,213,553	-	64,223,935	10,382
	オーストラリ アドル	1,649,423,986	-	1,700,112,160	50,688,174	1,449,490,647	-	1,456,522,428	7,031,781
	ニュージーラ ンドドル	610,164,937	-	624,237,769	14,072,832	725,759,219	-	734,306,732	8,547,513
	売建								
	米ドル	9,037,416,718	-	8,931,269,899	106,146,819	5,922,376,503	-	5,985,082,553	62,706,050
	カナダドル	1,089,777,070	-	1,119,398,197	29,621,127	836,833,909	-	861,841,154	25,007,245
	ユーロ	2,753,037,939	-	2,820,489,140	67,451,201	1,391,165,643	-	1,415,597,840	24,432,197
	英ポンド	1,158,806,662	-	1,186,376,986	27,570,324	953,893,276	-	958,056,994	4,163,718
	スイスフラン	-	-	-	-	292,095,987	-	302,456,201	10,360,214
	スウェーデン クローナ	1,370,165,379	-	1,414,089,009	43,923,630	819,447,831	-	854,206,941	34,759,110
	ノルウェー クローネ	1,506,043,007	-	1,602,252,737	96,209,730	399,114,078	-	403,244,130	4,130,052
	オーストラリ アドル	267,870,964	-	273,481,222	5,610,258	237,451,095	-	241,362,743	3,911,648
	ニュージーラ ンドドル	603,428,505	-	631,535,612	28,107,107	515,651,860	-	531,620,470	15,968,610
		合計	42,590,712,410	-	42,953,140,848	22,264,678	32,424,589,358	-	32,850,351,300

## (注) 時価の算定方法

## ・先物取引

1. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
2. 主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。2つ以上の取引所に上場されていて、かつ当該取引所相互間で反対売買が可能な先物取引について、取引量を勘案して評価を行う取引所を決定しております。

## ・為替予約取引

1. 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
  - (1) 予約為替の受渡し日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。
  - (2) 当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 

当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。
2. 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客相場の仲値により評価しております。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

## (1口当たり情報)

区分	(2020年12月7日現在)	(2021年6月7日現在)
1口当たり純資産額	2,4562円	2,5214円

## (重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

[次へ](#)

## 2 ファンドの現況

原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 2 ファンドの現況」については、以下の内容に更新されます。

< 訂正・更新後 >

純資産額計算書

< ゴールドマン・サックス・世界債券オープン A 限定為替ヘッジ（野村 S M A ・ E W 向け） >

（2021年6月30日現在）

資産総額	10,701,134,241円
負債総額	7,955,244円
純資産総額（ - ）	10,693,178,997円
発行済口数	9,807,572,987口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0903円

< ゴールドマン・サックス・世界債券オープン B 為替ヘッジなし（野村 S M A ・ E W 向け） >

（2021年6月30日現在）

資産総額	9,855,998,037円
負債総額	10,617,455円
純資産総額（ - ）	9,845,380,582円
発行済口数	9,006,870,835口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0931円

参考情報

< 世界債券オープン A コース（限定為替ヘッジ）マザーファンド >

（2021年6月30日現在）

資産総額	31,929,737,537円
負債総額	2,899,490,672円
純資産総額（ - ）	29,030,246,865円
発行済口数	16,289,768,285口
1口当たり純資産額（ / ）	1.7821円

< 世界債券オープン B コース（為替ヘッジなし）マザーファンド >

（2021年6月30日現在）

資産総額	42,561,893,904円
負債総額	3,790,055,373円
純資産総額（ - ）	38,771,838,531円
発行済口数	15,359,471,088口
1口当たり純資産額（ / ）	2.5243円

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第1【委託会社等の概況】

#### 1 委託会社等の概況

< 訂正前 >

(前略)

#### (2) 委託会社等の機構

(中略)

投資運用の意思決定機構

(中略)

投資運用の意思決定には、委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループのリソースが活用されます。委託会社の運用本部はゴールドマン・サックスの資産運用グループのポートフォリオ・マネジメント・チームの構成員として、他の構成員たる様々な地域のポートフォリオ・マネジメント・チームとグローバルな情報交換を行っています。

< 訂正後 >

(前略)

#### (2) 委託会社等の機構

(中略)

投資運用の意思決定機構

(中略)

投資運用の意思決定には、委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用部門のリソースが活用されます。委託会社の運用本部はゴールドマン・サックスの資産運用部門のポートフォリオ・マネジメント・チームの構成員として、他の構成員たる様々な地域のポートフォリオ・マネジメント・チームとグローバルな情報交換を行っています。

#### 2 事業の内容及び営業の概況

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 2 事業の内容及び営業の概況」については、下記の内容に更新されます。

< 訂正・更新後 >

事業の内容

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその投資運用業務および投資助言業務を行っています。また、金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業務および第二種金融商品取引業務を行っています。

委託会社の運用するファンド

2021年6月末現在、委託会社が運用する証券投資信託は以下のとおりです（親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額（円）
追加型株式投資信託	119	3,193,529,414,908
単位型株式投資信託	3	95,782,535,875
合計	122	3,289,311,950,783

[次へ](#)

### 3 委託会社等の経理状況

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況 3 委託会社等の経理状況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

#### 1. 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

#### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第26期事業年度（2020年1月1日から2020年12月31日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

## ( 1 ) 貸借対照表

期別		第25期 (2019年12月31日現在)			第26期 (2020年12月31日現在)		
資産の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動資産							
現金・預金			11,715,344			3,988,117	
短期貸付金			6,000,000			13,342,808	
支払委託金			18			12	
収益分配金		18			12		
前払費用			107,249			230,502	
未収委託者報酬			2,145,881			3,968,522	
未収運用受託報酬			2,044,425			1,971,086	
未収収益			223,770			10,811	
その他流動資産			1,722			475	
流動資産計			22,238,411	90.3		23,512,335	90.2
固定資産							
無形固定資産			411,424			373,458	
ソフトウェア		411,424			373,458		
投資その他の資産			1,985,685			2,184,808	
投資有価証券		630,249			622,207		
長期差入保証金		52,689			48,548		
繰延税金資産		1,168,588			1,315,564		
その他の投資等		134,158			198,487		
固定資産計			2,397,109	9.7		2,558,266	9.8
資産合計			24,635,521	100.0		26,070,602	100.0

期別		第25期 (2019年12月31日現在)			第26期 (2020年12月31日現在)		
負債の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動負債							
預り金			97,107			99,229	
未払金			2,155,923			3,013,716	
未払収益分配金		152			158		
未払手数料		766,147			1,640,148		
その他未払金		1,389,622			1,373,409		
未払費用	* 1		2,471,414			2,986,919	
一年内返済予定の関係会社 長期借入金			-			4,000,000	
未払法人税等			864,902			861,944	
未払消費税等			236,987			605,302	
その他流動負債			191,149			195,869	
流動負債計			6,017,484	24.4		11,762,981	45.1
固定負債							
関係会社長期借入金			4,000,000			2,000,000	
退職給付引当金			296,824			382,052	
長期未払費用	* 1		1,282,291			1,228,851	
固定負債計			5,579,116	22.6		3,610,904	13.9
負債合計			11,596,600	47.1		15,373,885	59.0

期別		第25期 (2019年12月31日現在)			第26期 (2020年12月31日現在)		
純資産の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
株主資本							
資本金			490,000			490,000	
資本剰余金			390,000			390,000	
資本準備金		390,000			390,000		
利益剰余金			12,076,885			9,731,934	
その他利益剰余金		12,076,885			9,731,934		
繰越利益剰余金		12,076,885			9,731,934		
株主資本合計			12,956,885	52.6		10,611,934	40.7
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金		82,035			84,781		
評価・換算差額等合計			82,035	0.3		84,781	0.3
純資産合計			13,038,920	52.9		10,696,716	41.0
負債・純資産合計			24,635,521	100.0		26,070,602	100.0

## (2) 損益計算書

期別		第25期 自 2019年1月1日 至 2019年12月31日			第26期 自 2020年1月1日 至 2020年12月31日		
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
営業収益							
委託者報酬			21,024,391			26,069,145	
運用受託報酬	* 2		7,649,897			8,163,247	
その他営業収益	* 2		5,712,670			4,447,923	
営業収益計			34,386,959	100.0		38,680,316	100.0
営業費用							
支払手数料			9,544,012			11,918,306	
広告宣伝費			98,312			91,343	
調査費			8,497,716			11,053,082	
委託調査費	* 2	8,497,716			11,053,082		
委託計算費			252,211			289,006	
営業雑経費			287,340			302,198	
通信費		49,228			32,119		
印刷費		200,098			226,826		
協会費		38,014			43,252		
営業費用計			18,679,593	54.3		23,653,937	61.2
一般管理費							
給料			6,869,382			6,981,708	
役員報酬		248,019			243,660		
給料・手当		3,232,140			3,380,759		
賞与		1,395,488			1,402,186		
株式従業員報酬	* 1	596,764			619,783		
その他の報酬		1,396,970			1,335,318		
交際費			80,597			29,746	
寄付金			60,014			225,048	
旅費交通費			273,290			84,258	
租税公課			141,828			133,009	
不動産賃借料			130			-	
退職給付費用			232,430			255,577	
固定資産減価償却費			47,929			83,090	
事務委託費			2,262,718			2,143,277	
諸経費			795,990			857,945	
一般管理費計			10,764,313	31.3		10,793,662	27.9
営業利益			4,943,051	14.4		4,232,715	10.9

期別		第25期 自 2019年1月1日 至 2019年12月31日			第26期 自 2020年1月1日 至 2020年12月31日				
科目		注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比	
経常 損益の部	営業外収益		千円	千円	%	千円	千円	%	
	収益分配金			25,950			26,010		
	受取利息			51,393			47,837		
	為替差益			-			21,365		
	雑益			1,316			-		
	営業外収益計			78,659	0.2		95,213	0.2	
	営業外費用								
	支払利息	* 2			29,264			37,135	
	株式従業員報酬	* 1 * 2			484,091			248,579	
	為替差損				7,988			-	
	投資有価証券売却損				-			212	
	雑損				-			34	
	営業外費用計				521,344	1.5		285,961	0.7
	経常利益				4,500,367	13.1		4,041,967	10.4
税引前当期純利益				4,500,367	13.1		4,041,967	10.4	
法人税、住民税及び事業税				1,660,381	4.8		1,535,106	4.0	
法人税等調整額				215,529	0.6		148,188	0.4	
当期純利益				3,055,515	8.9		2,655,049	6.9	

## (3) 株主資本等変動計算書

第25期  
(自2019年1月1日 至2019年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2019年1月1日残高	490,000	390,000	390,000	12,021,369	12,021,369	12,901,369	75,573	75,573	12,976,942
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				3,000,000	3,000,000	3,000,000			3,000,000
当期純利益				3,055,515	3,055,515	3,055,515			3,055,515
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							6,462	6,462	6,462
事業年度中の変動額合計	-	-	-	55,515	55,515	55,515	6,462	6,462	61,978
2019年12月31日残高	490,000	390,000	390,000	12,076,885	12,076,885	12,956,885	82,035	82,035	13,038,920

第26期  
(自2020年1月1日 至2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
2020年1月1日残高	490,000	390,000	390,000	12,076,885	12,076,885	12,956,885	82,035	82,035	13,038,920
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				5,000,000	5,000,000	5,000,000			5,000,000
当期純利益				2,655,049	2,655,049	2,655,049			2,655,049
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							2,746	2,746	2,746
事業年度中の変動額合計	-	-	-	2,344,951	2,344,951	2,344,951	2,746	2,746	2,342,204
2020年12月31日残高	490,000	390,000	390,000	9,731,934	9,731,934	10,611,934	84,781	84,781	10,696,716

## 重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券 時価のあるもの 時価をもって貸借対照表価額とし、取得原価（移動平均法による原価法）ないし償却原価との評価差額については全部純資産直入法によっております。</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>無形固定資産 無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（3年）に基づく定額法によっております。</p>
3. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 退職給付引当金 当社は確定拠出年金制度（DC）とキャッシュ・バランス型の年金制度（CB）の2本立てからなる退職年金制度を採用しております。また、当該CBには、一定の利回りを保証しており、これの将来の支払いに備えるため、確定給付型の会計基準に準じた会計処理方法により、引当金を計上しております。数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(3) 金融商品取引責任準備金 金融商品取引事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5第1項に基づく責任準備金を計上しております。</p>
4. 収益および費用の計上基準	<p>「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）を適用しております。</p>
5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 株式従業員報酬の会計処理方法 役員及び従業員に付与されております、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬については、企業会計基準第8号「ストック・オプション等に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第11号「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」に準じて、権利付与日公正価値及び付与された株数に基づき計算される費用を権利確定計算期間にわたり人件費（一般管理費）として処理しております。また、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクとの契約に基づき当社が負担する、権利付与日以降の株価の変動により発生する損益については営業外損益として処理しております。</p> <p>(2) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。</p>

## 注記事項

(収益認識に関する注記)

第25期 (2019年12月31日現在)	第26期 (2020年12月31日現在)
<p>当社は、投資運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬およびその他営業収益を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>1. 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産価額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって月次、年4回、年2回もしくは年1回受取ります。当該報酬は投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>2. 運用受託報酬 運用受託報酬は、対象顧客との投資一任契約に基づき月末純資産価額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を対象口座によって年4回、年2回もしくは年1回受取ります。当該報酬は対象口座の運用期間にわたり収益として認識しております。また、当社の関係会社から受取る運用受託報酬は、関係会社との契約で定められた算式に基づき月次で認識され、月次で受け取ります。</p> <p>3. その他営業収益 関係会社からの振替収益は、当社の関係会社との契約で定められた算式に基づき月次で認識され、月次で受取ります。当該報酬は当社が関係会社にオフショアファンド関連のサービス等を提供する期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>4. 成功報酬 成功報酬は対象となるファンドまたは口座の運用益に対する一定割合、もしくは特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は契約上支払われることが確定した時点で収益として認識しております。</p>	同左

## (貸借対照表関係)

第25期 (2019年12月31日現在)	第26期 (2020年12月31日現在)
<p>* 1 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <p>固定負債 長期未払費用 1,255,929千円</p>	<p>* 1 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <p>流動負債 未払費用 1,440,736千円 固定負債 長期未払費用 1,203,974千円</p>

## (損益計算書関係)

第25期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
<p>* 1 株式従業員報酬 役員及び従業員に付与されておりますザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬に関するものであり、当該株式の株価及び付与された株数に基づき算出し配賦されております。</p> <p>* 2 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <p>営業収益 運用受託報酬 3,179,886千円 その他営業収益 5,206,251千円 営業費用 委託調査費 8,497,716千円 営業外費用 株式従業員報酬 356,723千円</p>	<p>* 1 株式従業員報酬 同左</p> <p>* 2 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <p>営業収益 運用受託報酬 3,737,721千円 その他営業収益 4,103,810千円 営業費用 委託調査費 11,053,082千円 営業外費用 株式従業員報酬 235,480千円 支払利息 37,135千円</p>

## (株主資本等変動計算書関係)

第25期(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	6,400	-	-	6,400

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月11日 臨時株主総会	普通株式	3,000,000	468,750	2019年6月13日	2019年6月13日

第26期(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	6,400	-	-	6,400

## 2. 配当に関する事項

## 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年12月15日 臨時株主総会	普通株式	5,000,000	781,250	2020年12月17日	2020年12月17日

## (リース取引関係)

第25期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
注記すべきリース取引を行っていないため、該当事項はありません。	同左

## （金融商品関係）

第25期  
（自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日）

## (1) 金融商品の状況に関する事項

## 金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、短期貸付金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び投資有価証券といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金や貸付金等の短期金融商品に限定する方針です。投資有価証券は事業推進目的のために保有する当社設定の投資信託であります。また、主な金融負債はその他未払金や一年内返済予定の関係会社長期借入金であります。

## 金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

信用リスク

当社の信用リスクは主に、銀行預金、短期貸付金、営業債権（当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬等）に係るものがあります。銀行預金に係る信用リスクについては、預金先銀行の信用力を口座開設時およびその後継続的に評価することによって管理しております。短期貸付金に係る信用リスクについては貸付先をゴールドマン・サックス証券株式会社とし、定期的に金額その他条件を見直すことによって管理しております。

また、営業債権は一年以内に回収される債権であり、社内規程に沿ってリスク管理を行っております。なお、過去に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できなかったケースはございません。

市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内で設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。また、当社は事業推進目的のために当社設定の投資有価証券を保有していることから、基準価額の変動による価格変動リスクに晒されております。係る投資有価証券については運用を行う資産の種類を文書に定め、取得にあたり事前に社内委員会にて検討・承認をし、保有の目的が達成されたと判断された時点で適時処分しております。

流動性および資金調達リスク

当社は、資金運用を短期的な預金や貸付金等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、ゴールドマン・サックスのグループ会社との間で融資枠を設定し、緊急時の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第25期  
(自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日)

## (2) 金融商品の時価等に関する事項

2019年12月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	11,715,344	11,715,344	-
短期貸付金	6,000,000	6,000,000	-
未収委託者報酬	2,145,881	2,145,881	-
未収運用受託報酬	2,044,425	2,044,425	-
投資有価証券			
その他投資有価証券	630,249	630,249	-
その他未払金	1,389,622	1,389,622	-
関係会社長期借入金	4,000,000	4,000,000	-

## 金融商品の時価の算定方法

現金・預金、短期貸付金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及びその他未払金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。投資有価証券については、投資信託であり、直近の基準価額によっております。一年内返済予定の関係会社長期借入金については、変動金利により短期間で市場金利を反映しており、また当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

## 金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	11,715,344	-	-	-	-	-
短期貸付金	6,000,000	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	2,145,881	-	-	-	-	-
未収運用受託報酬	2,044,425	-	-	-	-	-

## 長期借入金の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
関係会社長期借入金	-	4,000,000	-	-	-	-

第26期  
（自 2020年1月1日  
至 2020年12月31日）

#### (1) 金融商品の状況に関する事項

##### 金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、短期貸付金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び投資有価証券といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金や貸付金等の短期金融商品に限定する方針です。投資有価証券は事業推進目的のために保有する当社設定の投資信託であります。また、主な金融負債はその他未払金や関係会社長期借入金であります。

##### 金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

##### 信用リスク

当社の信用リスクは主に、銀行預金、短期貸付金、営業債権（当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬等）に係るものがあります。銀行預金に係る信用リスクについては、預金先銀行の信用力を口座開設時およびその後継続的に評価することによって管理しております。短期貸付金に係る信用リスクについては貸付先をゴールドマン・サックス証券株式会社とし、定期的に金額その他条件を見直すことによって管理しております。

また、営業債権は一年以内に回収される債権であり、社内規程に沿ってリスク管理を行っております。なお、過去に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できなかったケースはございません。

##### 市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内で設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。また、当社は事業推進目的のために当社設定の投資有価証券を保有していることから、基準価額の変動による価格変動リスクに晒されております。係る投資有価証券については運用を行う資産の種類を文書に定め、取得にあたり事前に社内委員会にて検討・承認をし、保有の目的が達成されたと判断された時点で適時処分しております。

##### 流動性および資金調達リスク

当社は、資金運用を短期的な預金や貸付金等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、ゴールドマン・サックスのグループ会社との間で融資枠を設定し、緊急時の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第26期  
(自 2020年1月1日  
至 2020年12月31日)

## (2) 金融商品の時価等に関する事項

2020年12月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	3,988,117	3,988,117	-
短期貸付金	13,342,808	13,342,808	-
未収委託者報酬	3,968,522	3,968,522	-
未収運用受託報酬	1,971,086	1,971,086	-
投資有価証券			
その他投資有価証券	622,207	622,207	-
その他未払金	1,373,409	1,373,409	-
関係会社長期借入金			
一年内返済予定の関係会社長期借入金	4,000,000	4,000,000	-
関係会社長期借入金	2,000,000	2,000,000	-

## 金融商品の時価の算定方法

現金・預金、短期貸付金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及びその他未払金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。投資有価証券については、投資信託であり、直近の基準価額によっております。

一年内返済予定の関係会社長期借入金及び関係会社長期借入金については、変動金利により短期間で市場金利を反映しており、また当社の信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似していると考えられるため、当該帳簿価額によっております。

## 金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	3,988,117	-	-	-	-	-
短期貸付金	13,342,808	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	3,968,522	-	-	-	-	-
未収運用受託報酬	1,971,086	-	-	-	-	-

## 長期借入金の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
一年内返済予定の関係会社長期借入金	4,000,000	-	-	-	-	-
関係会社長期借入金	-	2,000,000	-	-	-	-

## (有価証券関係)

第25期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)					第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)				
1. その他有価証券で時価のあるもの					1. その他有価証券で時価のあるもの				
区分	種類	取得原価 (千円)	貸借対照 表計上額 (千円)	差額 (千円)	区分	種類	取得原価 (千円)	貸借対照 表計上額 (千円)	差額 (千円)
貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	投資証券	512,000	630,249	118,249	貸借対照表計上 額が取得原価を 超えるもの	投資証券	500,000	622,207	122,207
2. 当事業年度中に売却したその他有価証券 該当事項はありません。					2. 当事業年度中に売却したその他有価証券				
					売却額(千円)			売却益の合計額 (千円)	
					13,788			240	
								売却損の合計額 (千円)	
								453	

## (デリバティブ取引関係)

第25期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、 該当事項はありません。	同左

## （退職給付関係）

第25期 （自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）	第26期 （自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）																																																																		
<p>1. 採用している退職給付制度の概要 当社は確定拠出年金制度（DC）及びキャッシュ・バランス型年金制度（CB）を採用しております。</p> <p>2. キャッシュ・バランス型年金制度 （1）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>退職給付債務の期首残高</td><td style="text-align: right;">240,371千円</td></tr> <tr><td>勤務費用</td><td style="text-align: right;">126,047</td></tr> <tr><td>利息費用</td><td style="text-align: right;">408</td></tr> <tr><td>数理計算上の差異の発生額</td><td style="text-align: right;">5,629</td></tr> <tr><td>退職給付の支払額</td><td style="text-align: right;">52,873</td></tr> <tr><td>過去勤務費用の発生額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>退職給付債務の期末残高</td><td style="text-align: right;"><u>308,325</u></td></tr> </table> <p>（2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>積立型制度の退職給付債務</td><td style="text-align: right;">308,325</td></tr> <tr><td>未認識数理計算上の差異</td><td style="text-align: right;">11,500</td></tr> <tr><td>貸借対照表に計上された負債の額</td><td style="text-align: right;"><u>296,824</u></td></tr> </table> <p>（3）退職給付費用及びその内訳項目の金額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>勤務費用</td><td style="text-align: right;">126,047</td></tr> <tr><td>利息費用</td><td style="text-align: right;">408</td></tr> <tr><td>数理計算上の差異の費用処理額</td><td style="text-align: right;">4,813</td></tr> <tr><td>過去勤務債務の費用処理額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>確定給付制度に係る退職給付費用</td><td style="text-align: right;"><u>131,270</u></td></tr> </table> <p>（4）数理計算上の計算基礎に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>割引率</td><td style="text-align: right;">0.21 %</td></tr> </table> <p>3. 確定拠出制度 当社の確定拠出制度への要拠出額は、84,950千円であります。</p>	退職給付債務の期首残高	240,371千円	勤務費用	126,047	利息費用	408	数理計算上の差異の発生額	5,629	退職給付の支払額	52,873	過去勤務費用の発生額	-	退職給付債務の期末残高	<u>308,325</u>	積立型制度の退職給付債務	308,325	未認識数理計算上の差異	11,500	貸借対照表に計上された負債の額	<u>296,824</u>	勤務費用	126,047	利息費用	408	数理計算上の差異の費用処理額	4,813	過去勤務債務の費用処理額	-	確定給付制度に係る退職給付費用	<u>131,270</u>	割引率	0.21 %	<p>1. 採用している退職給付制度の概要 当社は確定拠出年金制度（DC）及びキャッシュ・バランス型年金制度（CB）を採用しております。</p> <p>2. キャッシュ・バランス型年金制度 （1）退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>退職給付債務の期首残高</td><td style="text-align: right;">308,325千円</td></tr> <tr><td>勤務費用</td><td style="text-align: right;">116,203</td></tr> <tr><td>利息費用</td><td style="text-align: right;">653</td></tr> <tr><td>転籍</td><td style="text-align: right;">2,700</td></tr> <tr><td>数理計算上の差異の発生額</td><td style="text-align: right;">9,846</td></tr> <tr><td>退職給付の支払額</td><td style="text-align: right;">38,017</td></tr> <tr><td>過去勤務費用の発生額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>退職給付債務の期末残高</td><td style="text-align: right;"><u>399,712</u></td></tr> </table> <p>（2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>積立型制度の退職給付債務</td><td style="text-align: right;">399,712</td></tr> <tr><td>未認識数理計算上の差異</td><td style="text-align: right;">17,659</td></tr> <tr><td>貸借対照表に計上された負債の額</td><td style="text-align: right;"><u>382,052</u></td></tr> </table> <p>（3）退職給付費用及びその内訳項目の金額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>勤務費用</td><td style="text-align: right;">116,203</td></tr> <tr><td>利息費用</td><td style="text-align: right;">653</td></tr> <tr><td>数理計算上の差異の費用処理額</td><td style="text-align: right;">3,688</td></tr> <tr><td>過去勤務債務の費用処理額</td><td style="text-align: right;">-</td></tr> <tr><td>確定給付制度に係る退職給付費用</td><td style="text-align: right;"><u>120,544</u></td></tr> </table> <p>（4）数理計算上の計算基礎に関する事項</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>割引率</td><td style="text-align: right;">0.40 %</td></tr> </table> <p>3. 確定拠出制度 当社の確定拠出制度への要拠出額は、75,589千円であります。</p>	退職給付債務の期首残高	308,325千円	勤務費用	116,203	利息費用	653	転籍	2,700	数理計算上の差異の発生額	9,846	退職給付の支払額	38,017	過去勤務費用の発生額	-	退職給付債務の期末残高	<u>399,712</u>	積立型制度の退職給付債務	399,712	未認識数理計算上の差異	17,659	貸借対照表に計上された負債の額	<u>382,052</u>	勤務費用	116,203	利息費用	653	数理計算上の差異の費用処理額	3,688	過去勤務債務の費用処理額	-	確定給付制度に係る退職給付費用	<u>120,544</u>	割引率	0.40 %
退職給付債務の期首残高	240,371千円																																																																		
勤務費用	126,047																																																																		
利息費用	408																																																																		
数理計算上の差異の発生額	5,629																																																																		
退職給付の支払額	52,873																																																																		
過去勤務費用の発生額	-																																																																		
退職給付債務の期末残高	<u>308,325</u>																																																																		
積立型制度の退職給付債務	308,325																																																																		
未認識数理計算上の差異	11,500																																																																		
貸借対照表に計上された負債の額	<u>296,824</u>																																																																		
勤務費用	126,047																																																																		
利息費用	408																																																																		
数理計算上の差異の費用処理額	4,813																																																																		
過去勤務債務の費用処理額	-																																																																		
確定給付制度に係る退職給付費用	<u>131,270</u>																																																																		
割引率	0.21 %																																																																		
退職給付債務の期首残高	308,325千円																																																																		
勤務費用	116,203																																																																		
利息費用	653																																																																		
転籍	2,700																																																																		
数理計算上の差異の発生額	9,846																																																																		
退職給付の支払額	38,017																																																																		
過去勤務費用の発生額	-																																																																		
退職給付債務の期末残高	<u>399,712</u>																																																																		
積立型制度の退職給付債務	399,712																																																																		
未認識数理計算上の差異	17,659																																																																		
貸借対照表に計上された負債の額	<u>382,052</u>																																																																		
勤務費用	116,203																																																																		
利息費用	653																																																																		
数理計算上の差異の費用処理額	3,688																																																																		
過去勤務債務の費用処理額	-																																																																		
確定給付制度に係る退職給付費用	<u>120,544</u>																																																																		
割引率	0.40 %																																																																		

## (税効果会計関係)

第25期 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)																																												
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">未払費用</td> <td style="text-align: right;">203,110千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">90,887</td> </tr> <tr> <td>長期未払費用</td> <td style="text-align: right;">341,499</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: right;">211,586</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">357,717</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,204,802</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,204,802</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">36,213</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">36,213</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">36,213</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金資産純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,168,588</td> </tr> </table>	未払費用	203,110千円	退職給付引当金	90,887	長期未払費用	341,499	無形固定資産	211,586	その他	357,717	小計	1,204,802	繰延税金資産合計	1,204,802	その他有価証券評価差額金	36,213	小計	36,213	繰延税金負債合計	36,213	繰延税金資産純額	1,168,588	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>繰延税金資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">未払費用</td> <td style="text-align: right;">447,122千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">116,984</td> </tr> <tr> <td>長期未払費用</td> <td style="text-align: right;">218,787</td> </tr> <tr> <td>無形固定資産</td> <td style="text-align: right;">213,147</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">356,948</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,352,990</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,352,990</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">37,425</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">37,425</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">37,425</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">繰延税金資産純額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,315,564</td> </tr> </table>	未払費用	447,122千円	退職給付引当金	116,984	長期未払費用	218,787	無形固定資産	213,147	その他	356,948	小計	1,352,990	繰延税金資産合計	1,352,990	その他有価証券評価差額金	37,425	小計	37,425	繰延税金負債合計	37,425	繰延税金資産純額	1,315,564
未払費用	203,110千円																																												
退職給付引当金	90,887																																												
長期未払費用	341,499																																												
無形固定資産	211,586																																												
その他	357,717																																												
小計	1,204,802																																												
繰延税金資産合計	1,204,802																																												
その他有価証券評価差額金	36,213																																												
小計	36,213																																												
繰延税金負債合計	36,213																																												
繰延税金資産純額	1,168,588																																												
未払費用	447,122千円																																												
退職給付引当金	116,984																																												
長期未払費用	218,787																																												
無形固定資産	213,147																																												
その他	356,948																																												
小計	1,352,990																																												
繰延税金資産合計	1,352,990																																												
その他有価証券評価差額金	37,425																																												
小計	37,425																																												
繰延税金負債合計	37,425																																												
繰延税金資産純額	1,315,564																																												
<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">30.62 %</td> </tr> <tr> <td>賞与等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">1.40 %</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.08 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">32.11 %</td> </tr> </table>	法定実効税率 (調整)	30.62 %	賞与等永久に損金に算入されない項目	1.40 %	その他	0.08 %	税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.11 %	<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率 (調整)</td> <td style="text-align: right;">30.62 %</td> </tr> <tr> <td>賞与等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">3.74 %</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.05 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">34.31 %</td> </tr> </table>	法定実効税率 (調整)	30.62 %	賞与等永久に損金に算入されない項目	3.74 %	その他	0.05 %	税効果会計適用後の法人税等の負担率	34.31 %																												
法定実効税率 (調整)	30.62 %																																												
賞与等永久に損金に算入されない項目	1.40 %																																												
その他	0.08 %																																												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.11 %																																												
法定実効税率 (調整)	30.62 %																																												
賞与等永久に損金に算入されない項目	3.74 %																																												
その他	0.05 %																																												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	34.31 %																																												
<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>該当事項はありません。</p>	<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>該当事項はありません。</p>																																												

## 〔セグメント情報等〕

第25期（自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）

## 〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

## 〔関連情報〕

## 1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	21,024,391	7,649,897	5,712,670	34,386,959

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
31,118,697	3,268,261	34,386,959

営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

第26期（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

## 〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

## 〔関連情報〕

## 1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	26,069,145	8,163,247	4,447,923	38,680,316

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
34,853,688	3,826,628	38,680,316

営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

## ( 関連当事者情報 )

第25期 ( 自 2019年1月1日 至 2019年12月31日 )										
親会社及び法人主要株主等										
種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	49 百万ドル	投資顧問業	被所有 間接 75%	投資助言 (注1)	その他営業収 益 運用受託報酬 委託調査費	5,206,251 3,179,886 8,497,716		
親会社	ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	11,212 百万ドル	持株会社	被所有 間接 100%	資金援助 (注2) 費用の振 替 (注3) 株式報酬	営業外費用	385,987	未払費用 長期未払 費用 関係会社 長期借入 金	579,843 1,255,929 4,000,000
取引条件及び取引条件の決定方針等 (注1) 価格その他の取引条件は、関係会社間の契約に基づき決定しております。 (注2) 借入利率は市場金利を勘案して決定しております。当初借入期間は2~2.5年であり、担保は差し入れておりません。 (注3) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。										
役員及び個人主要株主等 該当事項はありません。										

第25期  
(自 2019年1月1日  
至 2019年12月31日)

## 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス 証券株 式会 社	東京都 港区	83,616 百万円	金融商品 取引業		資金の調 達 (注1)	営業外収 益	8,125	短期貸付 金 未払費用	6,000,000 550,482
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス ・ジャ パン・ ホール ディン グス 有限会 社	東京都 港区	100 百万円	資産保有 等		費用の振 替 (注2) 資産の保 有等	営業外費 用	127,367		
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス ・バン ク・USA	アメリカ 合衆国 ニュー ヨーク 州	8,000 百万ドル	銀行業		現金の保 管	営業外収 益	43,267	現金・預 金	2,599,130
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス ・イン ターナ シヨ ナル	英国 ロンドン	590 百万ドル	証券業		費用の振 替 (注2) 資産の保 有等			未払費用	280,705

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、グループ会社間の契約に基づき決定しております。

(注2) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

## 親会社又は重要な関連会社に関する注記

## 親会社情報

ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・ホールディングス・エル・エル・シー(未上場)

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(未上場)

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル・ホールディングス・エル・エル・シー(未上場)

第26期  
(自 2020年1月1日  
至 2020年12月31日)

## 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	49 百万ドル	投資顧問業	被所有 間接 75%	投資助言 (注1)	その他営業収 益 運用受託報酬 委託調査費	4,103,810 3,737,721 11,053,082	未払費用	637,026
親会社	ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	11,212 百万ドル	持株会社	被所有 間接 100%	資金援助 (注2) 費用の振 替 (注3) 株式報酬	営業外費用	272,615	未払費用 一年内返 済予定の 関係会社 長期借入 金 長期未払 費用 関係会社 長期借入 金	803,710 4,000,000 1,203,974 2,000,000

## 取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、関係会社間の契約に基づき決定しております。

(注2) 借入利率は市場金利を勘案して決定しております。当初借入期間は2~2.5年であり、担保は差し入れておりません。

(注3) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。

## 役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

第26期 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)										
兄弟会社等										
種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等 の所有(被所 有)割合	関連当事 者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス 証券株 式会社	東京都 港区	83,616 百万円	金融商品 取引業		資金の調 達 (注1)	営業外収 益	42,859	短期貸付 金 未払費用	13,342,808 359,915
親会社 の子会 社	ゴールド マン・サ ックス ・イン ターナ ショナル	英国 ロンドン	598 百万ドル	証券業		費用の振 替 (注2) 資産の保 有等			未払費用	306,046
取引条件及び取引条件の決定方針等 (注1) 価格その他の取引条件は、グループ会社間の契約に基づき決定しております。 (注2) 価格その他の取引条件は、市場実勢を勘案して決定しております。										
親会社又は重要な関連会社に関する注記 親会社情報 ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク(ニューヨーク証券取引所に上場) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・ホールディングス・エル・エル・シー(未上場) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(未上場) ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル・ホールディングス・エル・エル・ シー(未上場)										

## （1株当たり情報）

第25期 （自 2019年1月1日 至 2019年12月31日）		第26期 （自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）	
1株当たり純資産額	2,037,331円36銭	1株当たり純資産額	1,671,361円97銭
1株当たり当期純利益金額	477,424円33銭	1株当たり当期純利益金額	414,851円50銭
損益計算書上の当期純利益	3,055,515千円	損益計算書上の当期純利益	2,655,049千円
1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式に係る当期純利益	3,055,515千円	1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式に係る当期純利益	2,655,049千円
差額	-	差額	-
期中平均株式数		期中平均株式数	
普通株式	6,400株	普通株式	6,400株
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載しておりません。		同左	

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 第2【その他の関係法人の概況】

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第2 その他の関係法人の概況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

### 1 名称、資本金の額及び事業の内容

#### (1) 投資顧問会社

名称	資本金の額 (2020年12月末日現在)	事業の内容
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル (GSAMロンドン)	1,756千米ドル (182百万円)	主として英国において業務を行うザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの関連企業です。GSAMロンドンおよびその投資顧問関連企業は、現在、投資信託、公的年金・企業年金、各種公益基金、銀行、保険会社、事業法人および個人投資家を含む広範囲の顧客にサービスを提供しています。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー (GSAMニューヨーク)	49百万米ドル (5,072百万円)	米国において、内外の有価証券等に係る投資顧問業務およびその他付帯関連する一切の業務を営んでいます。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(シンガポール)ピーティイー・リミテッド (GSAMシンガポール)	14百万米ドル (1,449百万円)	シンガポールにおいて、内外の有価証券等に係る資産運用およびその他付帯関連する一切の業務を営んでいます。

1米ドル=103.50円

#### (2) 受託銀行

名称	資本金の額 (2021年3月末日現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

#### (3) 販売会社

名称	資本金の額 (2021年3月末日現在)	事業の内容
野村證券株式会社	10,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を中心としたサービスを提供しています。

## 2【関係業務の概要】

#### (1) 投資顧問会社

本ファンドおよびマザーファンドの投資顧問会社として、委託会社より債券および通貨の運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行っています。

#### (2) 受託銀行

本ファンドの受託者として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行います。

#### (3) 販売会社

本ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

### 3【資本関係】

(1) 投資顧問会社

投資顧問会社および委託会社はいずれもザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。

(2) 受託銀行

該当事項はありません。

(3) 販売会社

該当事項はありません。

## 独立監査人の中間監査報告書

2021年7月14日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向け）の2020年12月8日から2021年6月7日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・世界債券オープンA限定為替ヘッジ（野村SMA・EW向け）の2021年6月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2020年12月8日から2021年6月7日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。  
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注1) 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) 財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

## 独立監査人の中間監査報告書

2021年7月14日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

### 中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし（野村SMA・EW向け）の2020年12月8日から2021年6月7日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・世界債券オープンB為替ヘッジなし（野村SMA・EW向け）の2021年6月7日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2020年12月8日から2021年6月7日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

### 中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

### 中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
  - ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
  - ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
  - ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
- 監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注1) 上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

(注2) 財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

[次へ](#)

## 独立監査人の監査報告書

2021年3月5日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 佐々木 貴司
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士 山口 健志

### 監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの第26期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の2020年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 財務諸表に対する経営者及び監査役の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続

企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

( ) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しておりません。